

取組事例

2 県関係の事例

事業名 平成22年度 子ども読書ボランティアリーダー養成講座（上越地区）

目的 子どもの読書活動を推進するため、既に活動している子ども読書ボランティアの更なる質の向上を目指して講座等を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

実施主体 新潟県教育庁生涯学習推進課・上越教育事務所社会教育課

参加対象 読み聞かせや学校図書館支援など、子ども読書活動へボランティアとして参加した経験のある方（参加予定の方も含む）

参加者数 延べ144名

回数 5回 **日数** 5日 **時間** 10時間

場所 上越市直江津学びの交流館 イベントホール及び音楽室

内容

回	期日・時間	テーマ	講師
1	10月26日（火） 13:30～15:30	絵本の楽しさを味わってもらうために	新潟大学非常勤講師 錦 恵美子 様（新潟市）
	内容・方法	・絵本が生まれた背景や著者が育った背景に触れ、聞き手だけでなく、読み手も楽しむことが大切であり、絵本にはその魅力や楽しさがある。物語や絵本を読むことは、聞き手のその後の人生に大きな影響を与える。人が本を手渡すことが大切である等の講義を実施 [26名]	
2	11月2日（火） 13:30～15:30	ブックトークの魅力 （ブックトークの説明、組み立て方など）	三条市市民部生涯学習課主査 長谷川優子 様（三条市）
	内容・方法	・子どもたちが楽しく、興味深く、多くの本と出会うことができる「ブックトーク」について、その意義や事前の準備と手順、選書の注意点、事後の配慮事項等の講義を実施 ・低学年プログラム「なが～いなが～い」の本（7冊）の実演と、次回予告 [27名]	
3	11月9日（火） 13:30～15:30	ブックトーク実習 （グループに分かれての組立と発表）	三条市市民部生涯学習課主査 長谷川優子 様（三条市）
	内容・方法	・事前に指定されたテーマに沿ったグループごとのブックトークプログラム作りと発表 ・各発表の終了後、最も紹介したい本との関連性を重視して選書する必要性や、ブックトークを行う上での留意点等について、講師からの講評とアドバイス [24名]	
4	11月16日（火） 13:30～15:30	子ども読書活動推進に向けた公立図書館の取組	上越市立高田図書館サービス係主任 丸山麻希子 様（上越市）
	内容・方法	・上越市立図書館の概要、来館者の利便性を考慮した児童絵本コーナーの配架の工夫や絵本の種類別にシールで色分けする工夫等、子ども読書活動推進の具体的な取組の紹介 ・受講生同士の情報交換（活動状況紹介、活動中の喜びや悩み・立腹したこと等） [25名]	
5	11月30日（火） 13:30～15:30	子どもに本を手渡すことの意義や重要性 ～ お話はこころの畑の種まき ～	野の花文庫代表 新潟大学名誉教授 真壁伍郎 様（新潟市）
	内容・方法	・石井桃子氏のビデオ視聴や資料を用いて、本は言葉を育てる重要なものである。児童文学はあたたかいものであり、子どもたちに文学を与えることは、その子の一生を左右するものになる。子どもたちにはよい本を与えることが大切である等の講義を実施 [42名]	

成果 地域や学校で活躍するボランティアや上越市学校図書館補助員の多くの参加を得て実施した。4名の講師からの講義や演習を通して、子どもに本を手渡す、紹介する必要性を再認識することができた。受講生一人一人は、読み聞かせの技術だけでなく、ブックトークなど、子ども読書活動推進への新たな視野を広げることができた。

課題 読み聞かせ技術の向上に意識が偏っているボランティアが多いと感じる。今回のような研修会を毎年継続的に開催し、あらゆる視点からの資質・指導力向上を図る必要がある。

問合せ先 新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課（担当：猪又英一） TEL:025-526-9377

事業名

平成22年度子ども読書ボランティアリーダー養成講座(中越地区)

目的

子どもの読書活動を推進するため、既に活動している子ども読書ボランティアの更なる質の向上を目指して講座等を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

実施主体

新潟県教育庁生涯学習推進課・中越教育事務所社会教育課

参加対象

読み聞かせ等の子ども読書ボランティア活動に参加した経験のある方

参加者数

延べ148名

回数

5回

日数

5日

時間

10時間

場所

長岡市立中央図書館 講座室及び館内施設

内容

回	期日・時間	テーマ	講師
1	10月19日(火) 10:00~12:00	お話はこのころの畑の種まき - 子どもと文学 -	野の花文庫代表 新潟大学名誉教授 真壁伍郎 様(新潟市)
	内容・方法	・石井桃子のインタビュー番組(1997年)視聴や資料の解説、絵本の紹介などにより、子ども時代の過ごし方の重要性、絵本の果たす役割、ことばがけや語りかけの大切さ、温かさや心を伝える読み聞かせを心がけること、などについての講義。(32名)	
2	10月26日(火) 10:00~12:00	読み語りの基礎の確認	絵本読み聞かせの会はらぺこあおむし代表 JPIC 読書アドバイザー 朝日仁美 様(糸魚川市)
	内容・方法	・受講者自己紹介(1分~1分半:「わたしの好きな本」を紹介します!)。リストを印刷配布。 ・読み聞かせを行う際の事前準備や練習、基本的な技法などについての講話。 ・講師の読み聞かせ実演(『きょうはみんなでクマがりだ』)。(30名)	
3	11月2日(火) 10:00~12:00	読み語りのプログラムと 選書の在り方	絵本読み聞かせの会はらぺこあおむし代表 JPIC 読書アドバイザー 朝日仁美 様(糸魚川市)
	内容・方法	・プログラム立案に際しての企画及び選書にかかわる留意点などについての講話。 ・「良い本とは何だろう?良い本を伝えるためには何が必要だろうか?」をテーマに、5~6名ずつ6グループによるグループワーク。模造紙にまとめ、3分ずつの発表で共有。(29名)	
4	11月9日(火) 10:00~12:00	ボランティアとは何だろう?	絵本読み聞かせの会はらぺこあおむし代表 JPIC 読書アドバイザー 朝日仁美 様(糸魚川市)
	内容・方法	・ボランティアの意義や留意点(依頼相手の要望や依頼の経緯を確認、自分の立場・条件・スキルを考慮など)及びグループ員の育成と研修、ネットワークづくりなどについての講話。質疑応答。受講者からの告知。講師実演(『ときがとぶそら』『ありがとう』)。(26名)	
5	11月16日(火) 10:00~12:00	図書館を探検しよう! - 施設見学と利用について -	長岡市立中央図書館奉仕係主任 長瀬貴子 様
	内容・方法	・館内施設(講堂、美術センター、事務室、書庫、貴重資料室、館外奉仕室、自動車文庫、おはなしのへや、カウンター、児童書コーナーなど)の見学。 ・長岡市立図書館の歴史と現状、子ども読書関係事業などの説明ならびに質疑応答。(31名)	

成果

5回講座の構成を、①読書の役割や絵本の本質に関する講義、②読み聞かせのスキルに関わる講話やグループワーク、③施設の見学や司書との質疑応答、と変化をもたせた。全員が「今後の活動に生かせる内容であった。」と肯定的評価をしている。

課題

感想を毎回記入してもらい反応を集約できた。講師にも送付し参考にしてもらった。受講者の活動経験年数は、約半年から19年までと幅広く、講座に期待するレベルの差が大きかった。講座内容をどのレベルに焦点付けるか、配慮も必要である。

問合せ先

新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課(担当:植木志郎) Tel:0258-38-2652

事業名

平成22年度 子ども読書活動推進授業
読書ボランティアリーダー養成講座（下越地区）

目的

子どもの読書活動を推進するため、既に活動している子ども読書ボランティアの更なる資質の向上を目指して講座等を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

実施主体

新潟県教育庁生涯学習推進課・下越教育事務所

参加対象

読み聞かせ等の子ども読書ボランティア活動に参加した経験のある方

参加者数

25人

回数

5回

日数

5日

時間

各回2時間～2時間30分

場所

阿賀野市立図書館 視聴覚室

内容

回	期日・時間	テーマ	講師
1	10月6日(水) 9:30～12:00	○図書館の説明と施設見学・利用について ○お話はこころの畑の種まき ー子どもと文学ー	阿賀野市立図書館館長 田澤紀雄様 野の花文庫代表 新潟大学名誉教授 真壁伍郎様
	内容 ・子ども時代の過ごし方の重要性や本が果たす役割、ことばを育てることの大切さと子どもが育つための配慮についての講義。 方法 ・しっかりと本を味わう環境を整えることの重要性や効果について紹介。		
2	10月19日(火) 9:30～12:00	○「ブックトークってなに(1)」 ーテーマの設け方と本の選び方ー	元高等学校 司書 野上千恵子様
	内容 ・学校現場から見た時の時間の設定・留意点。 ・ブックトークの定義や意義、種類(フォーマルとインフォーマル)、テーマの設け方と本の選定、実施までの準備や手順、事後の整理や記録等についての講義。 方法 ・ブックトークの実践と受講者の次回の発表準備。		
3	10月26日(火) 10:00～12:00	○「ブックトークってなに(2)」 ー紹介の仕方を考え、シナリオを作ろうー	元高等学校 司書 野上千恵子様
	内容 ・受講者によるブックトークの実践と指導・講評。 ・ブックトークで大切にしなければいけないことやまとめ 方法 ・核になる本を読むことの大切さ、「選書で始まり、選書で終わる」などの講義。		
4	11月9日(火) 10:00～12:00	○「子どもが初めて出会う文学(1)」 ーわらべうたのたのしさをー	新潟県立大学 非常勤講師 伊藤美智子様
	内容 ・子どもへの読書で大切なこと。 ・豊かなことばの種を育むわらべうたの特徴 ・わらべうたを若いお母さんに伝え、語ってほしい。 ・車座になってわらべうたの実技実習。 方法		
5	11月16日(火) 10:00～12:00	○「子どもが初めて出会う文学(2)」 ーおはなしのたのしさをー	新潟県立大学 非常勤講師 伊藤美智子様
	内容 ・昔話を楽しむための「話を聞く」ことの大切さについて。講師のお話を聞く体験。 ・お話を語るために必要な、お話の三要素・選定・選定の原則・お話の覚え方・語るための留意点などの講義。 方法 ・まとめ・・・よりよい語り手となるためには。		

成果

3名の講師から、読書ボランティアの意義や子どもと読書の関わり的重要性について学び、ボランティアリーダーとして活動するための更なる資質の向上を図ることができた。振り返りシートを毎回記入してもらうことで、受講者の反応を集約することができた。集計結果は、講師にもその都度送付した。

課題

5回の枠内では、時間不足であり、受講者の実習も入れると慌ただしい日程であった。5日間で5講座は、受講者の都合も考慮すれば、日程・時間配分での検討が必要である。

問合せ先

新潟県教育庁下越教育事務所 社会教育課(担当:武石由紀)
〒951-8133 新潟市中央区川岸町3丁目18-1
TEL.025(231)8361 E-mail ngt501030@pref.niigata.lg.jp

事業名

平成22年度子ども読書ボランティアリーダー養成講座（佐渡地区）

目的

子どもの読書活動を推進するため、読み聞かせ等のボランティアの更なる質の向上を目指して講座等を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

実施主体

新潟県教育庁生涯学習推進課・佐渡市立中央図書館

参加対象

子どもボランティアの活動に興味のある方

参加者数

208名

回数

5回

日数

5日

時間

10時間

場所

佐渡市立中央図書館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月 9日(土) 13:30～15:30	お話はこころの畑の種まき ー子どもと文学ー	新潟大学名誉教授 真壁 伍郎 様
	内容・方法	ボランティアは、子どものためといいながらも自分も楽しいこと。お話を与える事の意味について説き、子どもの美への感覚及びことばを育てる事の大切さを講義。グリム童話・石井桃子「子どものころの思い出」神谷美恵子著「心の旅」よい詩ってどんな詩など。 [65名]	
2	10月 16日(土) 13:30～15:30	絵本の与え方ー「絵本」とは	新潟大学非常勤講師 錦 恵美子 様
	内容・方法	石井桃子氏・中村征子氏の話から、本当に良い絵本とは何か。長年の文庫での経験から絵本の与え方を、こころを込めて読むなど具体的に講義。参考資料：『絵本論』瀬田貞二著 『子どもの図書館』石井桃子著 『橋をかける』美智子皇后著 『絵本はともだち』中村征子著 [42名]	
3	10月 23日(土) 13:30～15:30	絵本論 ー子どもがおもしろいと思う絵本について	新潟大学非常勤講師 錦 恵美子 様
	内容・方法	子どもの好きなものは？『幼い子の文学』から行きて帰りし物語といわれるもの。幸せが約束されているものなど、子どもがおもしろいと思う絵本について講義。 [41名]	
4	10月 30日(土) 13:30～15:30	「絵本」の豊かで楽しいバックボーンについて	新潟大学非常勤講師 錦 恵美子 様
	内容・方法	バージニア・リー・バートンと赤羽末吉についての講義。良い絵本は、読み継がれていく。 [32名]	
5	11月 13日(土) 13:30～15:30	学校図書室・図書館のボランティアについて	佐渡市立中央図書館 館長 渡辺 日出子
	内容・方法	絵本の読み聞かせだけがボランティアではなく、図書館においても様々な種類のボランティアについてと自分の体験談をお話する。 [28名]	

成果

第1回目の真壁先生の講演会は、ボランティア活動をする人だけでなく、広く保育士や子育て中の母親等にも受講していただき、幼い時からの心とことばの育ちに何が必要なのか、その本とのかかわりなど深いお話に感動した人が多く、大変有意義であった。第2回目以降は、具体的な読み聞かせのボランティアとして、大切な事を切々と説いていただくことができ、改めてボランティアで子どもたちとかかわる事の責任と重大さを認識することができた。

課題

講師も受講生も大変熱心で、回数を重ねるごとに参加者が多くなってきている。このような講座は継続する事に意義があるので、今後も続けていってほしい。毎回様々な行事が重なる時期に開催されるため、全日程参加した人が半分程度だったことは残念であった。

問合せ先

佐渡市立中央図書館（担当：渡辺 日出子） TEL：0259-63-2800

事業名

国民読書年記念事業・新潟県子ども読書活動推進事業
妙高市「読み聞かせボランティア講座」

目的

国民読書年である2010年にさらに本に親しんでもらうため。また、地域でのボランティア活動を活性化するため。

実施主体

妙高市教育委員会 (共催：新潟県教育委員会)

参加対象

読み聞かせに興味のある方
読み聞かせを始めたい方など どなたでも

参加者数

1回目：19名
2回目：24名

回数

2回

日数

2日

時間

4時間

場所

新井総合コミュニティセンター 大会議室

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	12月5日(日) 13:00～15:00	紙芝居の読み聞かせ方法を学ぶ	講師：ジャックの会 (上越市内で主に活動している読み聞かせ団体)
	内容・方法	1. 講演、実演…講師による紙芝居を使った実演 ①演目、②紙芝居の特性と魅力、③紙芝居の演じ方の講演と演習 ※演習の部分では、実際に受講者に紙芝居の台詞を読んでもらったり、紙芝居の抜きの練習をしてもらったりと、講演だけではなく、受講者の実演や意見交換などが積極的に行われていた。(1時間45分程度) 2. 全体での質疑応答(10分程度)	
2	12月18日(土) 13:00～15:00	絵本の読み聞かせ方法を学ぶ	講師：えほんのへや (妙高市内で主に活動している読み聞かせ団体)
	内容・方法	1. 講演、実演…絵本の選び方、本の持ち方・扱い方、ページのめくり方を説明し、えほんのへやによる実演を行った。(30分程度) 2. 演習…A～Cまでのグループに分かれ、(講師は1グループに2名配置)受講者に持参してもらった絵本をグループ内で実際に1人ずつ読み、講師からのアドバイスを受けたり、同じグループのかたとの意見交換を行ったりした。(1時間10分程度) ※2回目については、グループ分けをしたことで、意見交換がしやすい場となり、講師や受講者同士での積極的な意見交換や質疑応答が行われた。 3. 全体での質疑応答(5分程度)	

成果

アンケート回答者20名中18名(90%)が良かったと回答
 アンケート回答者20名中20名(100%)が今後このような講座に参加したいと回答
 受講者からの質問にあった内容の本や紙芝居を選んでその場で講師が実演し、回答することで日頃受講者が疑問を抱いていたり、気になっていたりする部分を解決することができた講座となった。

課題

実演→講演を含め、2時間で読み聞かせの方法を学ぶことは難しい。
 回数を増やす必要はないが、時間を検討する必要がある。

問合せ先

妙高市教育委員会 生涯学習課 市民活動支援係 (担当：増田 恵美) TEL：0255-74-0034

事業名

国民読書年記念事業・新潟県子ども読書活動推進事業
長岡市「あきやまただしさん絵本ライブ」

目的

楽しい時間を通して、子どもたちに本に親しむきっかけをつくる。

実施主体

長岡市教育委員会（共催：新潟県教育委員会）

参加対象

幼児とその保護者

参加者数

親子55組(約170人)

回数

1回

日数

1日

時間

1時間

場所

子育ての駅ちびっこ広場 まちなか絵本館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
	11月21日 10:30～11:30	あきやまただしさん絵本ライブ	絵本作家 あきやまただし 様
1	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・あきやまただしさんの絵本「へんしんトンネル」「はなかつぱ」などの読み聞かせ ・ギターやタンバリンを使った歌や演奏 ・まちなか絵本館での絵本作品の展示・貸出 ・地元書店による絵本の販売 ・絵本ライブ終了後サイン会 	

成果

定員50組のところ、申込開始日に満員になった。
テレビアニメの「はなかつぱ」の原作者であり、親子ともに盛り上がり楽しんでもらった。
子ども達と一緒に歌ったり、親子一緒に体を動かしたりする内容であり充実していた。

課題

人気のある方であったために、申込みが殺到してしまった。安全面を考え、定員50組ということにしたがもう少し定員を増やしてもよかったと思う。

問合せ先

長岡市立中央図書館 奉仕係（担当：穴沢 麻子） TEL：0258-32-0658

事業名

国民読書年記念事業・新潟県子ども読書活動推進事業
魚沼市「読み聞かせステップアップセミナー」

目的

子ども達の読書活動を推進するため、読み聞かせグループ、ボランティア等を対象とした講座を開催し、人材育成を図る。

実施主体

魚沼市教育委員会（共催：新潟県教育委員会）

参加対象

読み聞かせグループ、ボランティア等

参加者数

51人（昼の部24、夜の部27）

回数

2回

日数

1日

時間

4時間

場所

魚沼市広神コミュニティセンター、魚沼市小出ボランティアセンター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月11日（木） 13:30～15:30 （昼の部）	読み聞かせの技術の向上	こころ座主宰 風間 操 様
	内容 ・ 最初にご自身の子育てを振り返りながら、子どもと読書の関わりの大切さをお話し頂いた。 ・ 全員で、しっかりと声を聞き手に届けるための呼吸法、早口言葉等にチャレンジ。その後、 ・ 数人が実際に童話を読み、情景を思い描きながら語るための指導を受けた。 方法 ・ 最後に講師が斎藤隆介の童話「ソメ子と鬼」を朗読し、参加者はプロの語りを堪能した。 ・ 会場より質問を受けて終了		
2	期日・時間	テーマ	講師等
	11月11日（木） 19:30～21:30 （夜の部）	読み聞かせの技術の向上	こころ座主宰 風間 操 様
	内容 ・ 方法	(1回と同様)	

成果

「発声が大事なことがわかった」「行間を読む、ということがどういうことなのか
がわかった」「はじめて丁寧に読む意味がわかった」「子ども達に本を読んであげた
くなった」等々の感想が寄せられ、参加者の読み聞かせ技術の向上等に寄与した。

課題

講師の冒頭のお話しを伺い、読み聞かせ技術の向上だけではなく、何故読み聞かせ
を通して子ども達と向き合うのか、という活動の原点を語り合う場も今後、必要だと
感じた。

問合せ先

魚沼市教育委員会生涯学習室（担当：広井 美智子） TEL：025-794-6073

事業名

平成22年度 小・中・特別支援学校PTA指導者研修会（上越地区）

目的

心身ともに健全な児童生徒の育成に向けて、PTA活動に関する研修を行い、PTA活動の活性化を図る指導者としての資質向上をめざす。

実施主体

主催：新潟県教育委員会 主管：上越教育事務所

参加対象

小学校、中学校、特別支援学校PTAの役員及び教職員会員

参加者数

196名

回数

1回

日数

1日

時間

3時間20分

場所

上越市ユートピアくびき希望館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月15日（火） 13:20～16:40	主体的に学び行動するPTAをめざして ～放課後の子どもたちの居場所とPTAの在り方～	<ul style="list-style-type: none"> 長岡市希望が丘コミュニティ推進協議会 希望が丘あそびの城代表 小林秀夫 様 上越市健康福祉部保育課長 勝俣 勤 様 社会福祉法人りとるらいふ代表 齋藤久美子様 上越教育大学准教授 藤田武志 様
	内容・方法	(1) 開会式 ・開会の挨拶 上越教育事務所長 大西 純 ・趣旨説明 県教育庁生涯学習推進課担当者 西川昌宏 (2) 事例発表 ①長岡市希望が丘あそびの城代表 小林秀夫 様 ②上越市健康福祉部保育課長 勝俣 勤 様 社会福祉法人りとるらいふ代表 齋藤久美子 様 講評 ・上越教育大学准教授 藤田武志 様 (3) 分科会 ・小学校部会、中学校部会、特別支援学校部会に分かれて小グループで実施 (4) 閉会式	
成果	<p>参加者が昨年度より14名多く、関心の高さが伺えた。上越市からは、放課後児童クラブ関係者の出席もあった。</p> <p>分科会では、PTA活動と放課後の子どもたちの過ごし方と、どのように関係づけていくか数多くの意見が出され、参加者から「事例発表や分科会が役に立った」という意見が多くでていた。</p> <p>PTAとして放課後の子どもたちの過ごし方に、どのような形で関係をもっていたらいいものか。具体的な方策を提案していくことが課題である。</p> <p>放課後の子どもたちの居場所とPTA活動をどのように関連させるかという間に、小学校と中学校では捉え方に多少差異があった。校種による捉え方の違いをそのままにせず、議論を深めていく必要がある。</p> <p>子どもたちを巡る環境の変化にPTAとして如何に対応していくか、何ができるのかを考えていく必要がある。今後、単位PTA及び市P連等でも論議してほしい。</p>		
課題			

問合せ先

新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課（担当：望月正樹） TEL：025-526-9377

事業名

平成22年度 社会同和教育市町村巡回研修会

目的

県民の同和問題及び社会同和教育の正しい理解を深め実践を促すため、広く県内市町村を巡回して研修を行う。

実施主体

主催：新潟県教育委員会（主管：上越教育事務所）
共催：上越管内3市教育委員会

参加対象

教育委員会職員等教育行政関係者、社会教育委員、公民館運営審議会委員、小・中・高・中等教育・特別支援学校関係職員、PTA関係者、社会教育関係団体、人権擁護委員、民生委員(児童委員)、社会福祉行政関係者等

参加者数

142名

回数

1回

日数

1日

時間

5.5時間

場所

糸魚川市ビーチホールまがたま

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
	6月30日(木) 10:00~16:30	「同和問題解消に向けて」 ～今、私にできること～	上越市白山会館運営委員会委員 講師：中村忠雄様
1	内容・方法	(1)開会式 開会の挨拶 上越教育事務所長 祝辞 糸魚川市教育委員会教育長 (2)社会同和教育における県教育委員会の取組 県教育庁生涯学習推進課成人教育係 (3)講義 「身近な部落問題と痛みの共感」 講師 上越市白山会館運営委員会委員 中村忠雄様 講義は「身近な部落問題と痛みの共感」と題して、①苦をバネに、②痛みの共感、③人の世に熱と光を、の3部構成で行われた。 (4)ビデオフォーラム ◇VTR「同和問題 これからの課題」「バースディレストラン」視聴 ◇グループ協議 ◇発表 (5)閉会式 ◇まとめ・講評 県教育庁生涯学習推進課成人教育係 ◇閉会の挨拶 上越教育事務所社会教育課長	

成果

昨年より39名多い参加者があった。例年に比べて保護者や市民の参加が増え人権意識の高まりが感じられた。内訳は、各種委員、市民、行政職員、保護者、教職員等である。様々な立場からの参加があり、グループ協議では意見交換が盛んに行われていた。

ビデオフォーラムでは、ビデオ2本「同和問題これからの課題」「バースディレストラン」の視聴を通して、差別の実態を映像を通して学んだ。

課題

市民参加型の巡回研修会を開催することで、市民の正しい理解と取組が具現化してくる。そのためには、数多くの市民が参加できるような事前の準備が必要となる。重点地区の行政、町内会、班会など一般市民が親しみやすい組織への働きかけを、より一層強くしていく。

問合せ先

新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課（担当：望月正樹） TEL：025-526-9377

事業名

団塊世代等社会参加促進モデル事業

上越市社会福祉協議会 遊びスペシャリスト養成
糸魚川市 IT講習会ボランティア講師養成
妙高市 関山ボランティアガイド養成

目的

上越市社会福祉協議会：おもちゃドクター養成を中心にして、「遊び」の知識やスキルを身に付けてグループ化を図り、地域活動を通して多世代交流を推進する。
糸魚川市：IT講習会の指導者としての専門的な知識や技能を学び、ボランティア講師を養成する。
妙高市：関山ボランティアガイドを養成し、文化財ガイドや情報発信を行い、交流人口の拡大を図る。

実施主体

上越市社会福祉協議会、糸魚川市教育委員会、妙高市教育委員会と新潟県教育委員会

参加対象

管内3市にそれぞれ在住で、各講座に興味のある団塊世代及び高齢者等

参加者数

上越市社会福祉協議会 12名 糸魚川市 5名 妙高市 24名

回数

4回～10回

日数

4日～10日

時間

各2時間～6時間

場所

上越市社会福祉協議会 上越市福祉交流プラザ及び金谷山周辺
糸魚川市 糸魚川地区公民館
妙高市 関山農民研修センター、関山神社周辺

内容

1 ボランティア養成講座
〈上越市社会福祉協議会〉遊びスペシャリスト養成

回	期日・時間	テーマ	講師
1	11月21日(日)13:00～16:00	「子どもたちの現状について」	上教大学教授 丸山良平 様
	内容・方法	入門講義	
2	11月27日(土)13:00～16:00	おもちゃドクター講座① おもちゃドクター講座②	日本おもちゃ病院協会 会長 嶋田弘史 様
	28日(日)10:00～16:00		
3	内容・方法	実技 「おもちゃについて知ろう」、「おもちゃの直し方」	
4	12月5日(日)13:00～16:00	「自然の中の昔遊び」	上越ネイチャーゲームの会 庭田安治 様
	内容・方法	実技 「はじめまして、わらしべ長者、森の音いくつ、わたしの木他」	

〈糸魚川市〉IT講習会ボランティア講師養成

回	期日・時間	テーマ	講師
1 5 回	11月8日(月)～12日(金) 13:30～16:30	パソコン操作及び「ワード」の習得	PCサポーターズ 宮島道子 様
	内容・方法	① 本講座の進め方、パソコンの基本操作：マウスの使い方、パソコンの名称他 ② ワード入門講座1 ツールバーについて、日本語入力の設定他 ③ ワード入門講座2 書式設定、コピーと移動、文書作成他 ④ ワード初級講座1 チラシの作り方～オートシェイプ、ワードアート他～ ⑤ ワード初級講座2 段落書式、単語登録、チラシ完成	
6 10 回	11月15日(月)～22日(月) 13:30～16:30	ボランティア講師デビュー	PCサポーターズ 宮島道子 様
	内容・方法	糸魚川地区公民館で行われる「IT講習初級講座」に参加し、受講生に対してパソコンの実技指導や支援を行う。こうして、ボランティア講師としての経験を積む。 半数は、受講生への指導・支援者として関わり、残りの半数は講習会の様子を参観する。各2回ずつ実施し、ボランティア講師の経験を積む。	

〈妙高市〉関山ボランティアガイド養成

回	期日・時間	テーマ	講師
1	8月22日(日) 9:30~11:30	関山神社周辺の文化財とその伝来	妙高市教育委員会生涯学習課
	内容・方法	開講式 臨地講座① 御神体、金毘羅堂、経塚、関山石仏群他	
2	9月11日(土) 9:30~11:30	近世宝蔵院の社領支配	宝蔵院日記刊行会 青木不二夫様
	内容・方法	集中講義① 宝蔵院とは、「宝蔵院日記」の概要他	
3	9月25日(土) 9:30~11:30	江戸時代の関山権現社と宝蔵院の姿	妙高市教育委員会生涯学習課
	内容・方法	集中講義② 関山権現社の普請と管理	
4	10月2日(土) 9:30~11:30	宝蔵院を訪れた人々	宝蔵院日記刊行会 清沢聡様、金子潤次様
	内容・方法	集中講義③ 宝蔵院を訪れた人々、宝蔵院の行事	
5	10月16日(土) 9:30~11:30	宝蔵院の温泉経営	宝蔵院日記刊行会 太田一成様
	内容・方法	集中講義④ 正徳2年以前、関山温泉略絵図、高田藩開発の赤倉温泉	
6	10月30日(土) 9:30~11:30	江戸時代の関山と現在の関山	妙高市教育委員会生涯学習課
	内容・方法	臨地講座② 岡倉天心六角堂、鮫ヶ尾城跡、勝福寺、関川関所跡他	
7	11月13日(土) 9:30~11:30	ガイドのまとめ	妙高市教育委員会生涯学習課
	内容・方法	ガイド養成のまとめ 修了式	

- 2 コーディネーター養成講座 ※3団体ともに実施しない。以下の団体がコーディネーター役となる。
 上越市社会福祉協議会 …… 「上越市社会福祉協議会」
 糸魚川市 …… 「糸魚川地区公民館」及び「PCサポーターズ」
 妙高市 …… 「妙高(関山)の文化財を語る会」

3 地域活動

〈上越市社会福祉協議会〉遊びスペシャリスト

回	期日・時間	活動内容
1	12月12日(日)~ 月1回程度	平成23年4月を目途に、「上越おもちゃ病院(仮称)」設立準備(おもちゃドクター修行、おもちゃフェスティバル見学他)

〈糸魚川市〉IT講習会ボランティア講師

回	期日・時間	活動内容
1	11月15日(月)~22日(月) 13:30~16:30	糸魚川地区公民館で行われる「IT講習初級講座」に参加し、受講生に対してパソコンの実技指導や支援を実施
2	養成講座修了後	根知公民館の「IT講習会」でパソコンの実技指導や支援を実施

〈妙高市〉関山ボランティアガイド

回	期日・時間	活動内容
1	12月23日(木) 9:30~12:00	関山神社周辺ガイド用テキスト作成
2	養成講座修了後	関山神社、宝蔵院周辺のボランティアガイド実施

成 果	管内3市の地域課題に応じたボランティア養成、その後の地域活動により、受講者は、常に目的意識をもって本講座に臨んでいた。その結果、講座修了後に早速ボランティア活動を開始している。
課 題	また、本講座は、受講者にとって新たな知識や経験を得る機会となり、人的ネットワークづくりや自己実現の一助となった。 3市での本講座の開催時期が遅くなり、地域活動がやや停滞する一因となった。今後は、開催時期をもう少し早める方向で検討する。 また、ある程度の数の受講者を確保するために、地域課題を明確にし、地域住民の必要性を把握するとともに広報活動に努める。

問合せ先

新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課(担当:中村文也) TEL:025-526-9377

事業名

平成22年度 学習プログラム学び合い研修会

目的

管内3市の実態や行政課題に基づいて行われている生涯学習・社会教育事業を3市の行政担当者が持ち寄り、お互いに学び合うことを通して、学習プログラムへの理解を図り、各市の学習活動の充実並びに上越地域の生涯学習・社会教育の充実に資する。

実施主体

主催:上越教育事務所 共催:上越管内3市教育委員会

参加対象

上越管内3市生涯学習担当職員、上越教育事務所社会教育課職員

参加者数

12名(第1回研修会)

回数

19回

日数

19日

時間

各回2～4時間

場所

上越教育事務所303会議室、3市各事業実施会場

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月23日(金) 13:20～15:45	事業を紹介し合い、事業の企画立案を学び合う	なし
	内容・方法	事業紹介 ＊事前に提出された5件の事業紹介シートについて、各市担当者が1事業ごとの内容を紹介 ＊主な紹介事業：(上越市) 謙信KIDSスクールプロジェクト、公民館春日分館事業青少年講座 (糸魚川市) 子ども楽習教室、親子で海チャレンジ!、糸魚川学び隊 (妙高市) 妙高フレンドスクール事業、地域の元気づくり活動助成事業 事業学び合い・指導 ＊担当者が紹介した事業内容について、参加者による質疑応答があり理解を深めた。 ＊県立生涯推進学習センター職員から、学習プログラム事業評価と広報活動について指導を受けた。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	事業参観日数 19日	事業を参観し、良さを学ぶ	なし
内容・方法	事業参観 ＊担当者会で紹介された事業を中心に事業参観 ＊事業参観後、メール等で事業参観の感想等を担当者に送付 ＊参観事業：(上越市) 謙信KIDSスクールプロジェクト、地域青少年育成会議 ＊「森の楽校」「川の楽校」「科学の楽校」「絵本の楽校」 (糸魚川市) 子ども楽習教室、親子で海チャレンジ!、糸魚川学び隊 (妙高市) 妙高フレンドスクール事業、地域の元気づくり活動助成事業 市民大学講座事業 等		

成果

新規事業開催に当たっての留意点について意見交換し、事業のねらいや特色など、各市で取り組もうとしている事柄について理解し合うことができた。

課題

昨年度に比べて、事業の参観数が増えたことは評価できる。ただし、訪問自体が限られた回数しかできない市もあり、各市の事情を考慮する必要性を感じた。

問合せ先

・新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課 (担当:望月正樹) TEL:025-526-9377

事業名

平成22年度 小・中・特別支援学校PTA指導者研修会

目的

心身ともに健全な児童生徒の育成に向けて、PTA活動に関する研修を行い、PTA活動の活性化を図る指導者としての資質の向上を目指す。

実施主体

主催：新潟県教育委員会（主管：中越教育事務所）
共催：小千谷市教育委員会、刈羽村教育委員会

参加対象

小学校、中学校、特別支援学校PTAの役員及び教職員

参加者数

352名

回数

2回

日数

2日

時間

11時間20分

場所

小千谷市民会館（6/11） 刈羽村生涯学習推進センター・ラピカ（6/25）

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等							
1	①6月11日（金） 10：00～15：40	主体的に学び、行動するPTAを目指して	講師： 県警生活安全企画課課長補佐 ハイテク犯罪対策室担当 大嶋 隆義 様 ファシリテーター： 県生涯学習関係職員6名							
	②6月25日（金） 10：00～15：40									
	○ 日程 9:30 10:00 10:15 11:20 12:00 13:00 15:30 15:40									
	内容・方法	<table border="1"> <tr> <td>受付</td> <td>開会</td> <td>講義</td> <td>グループワーク (講義について)</td> <td>昼食</td> <td>グループワーク (各学校PTAの課題とその解決)</td> <td>閉会</td> </tr> </table>	受付	開会	講義	グループワーク (講義について)	昼食	グループワーク (各学校PTAの課題とその解決)	閉会	
受付	開会	講義	グループワーク (講義について)	昼食	グループワーク (各学校PTAの課題とその解決)	閉会				
		○ 講義題 「子どもを取り巻くサイバー犯罪の現状と危険性」								
		○ 協議 「課題解決のためのグループワーク」（6分散会＝約30班＝各グループ6名程度）								

成果

中越地区は伝統として、1校1名以上の参加確保を維持してきたので、ここ3年間高い参加率である。

講義の後、グループワークという流れが定着し、協議も活発になってきた。

会場	参加者（名）	校種	参加対象校数	参加校数	参加校率（%）	参加者（名）
小千谷市	151名（151）	小学校	218（222）	208（208）	95.4（93.7）	239（234）
刈羽村	201名（195）	中学校・特別支援等	108（107）	96（98）	88.9（91.6）	113（112）
計	352名（346）	計	326（329）	304（306）	93.3（93.0）	352（346）

（ ）は前年度を示す

課題

研修会の効果を上げるためには1日参加が望ましいのだが、1日参加できず半日だけの参加者が多くなってきた。今後の対応策が必要である。

参加者数から6分散会構成が適当であるが、ファシリテーター6名の確保が難しくなってきた。

問合せ先

新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課（担当 渡邊善則） TEL：0258-38-2652

事業名

平成22年度 社会同和教育市町村巡回研修会

目的

同和問題の正しい理解を深め社会同和教育の実践を促すため、ひろく県内市町村を巡回して研修を行う。

実施主体

主催：新潟県教育委員会（主管：中越教育事務所）
共催：長岡市教育委員会、見附市教育委員会、出雲崎町教育委員会

参加対象

長岡市・見附市・出雲崎町にお住まいお勤めの方（生涯学習・社会教育関係者、民生委員、児童委員、人権擁護委員、社会教育行政職員、PTA・学校教育関係者）

参加者数

101名

回数

1回

日数

1日

時間

3時間30分

場所

長岡市立中央図書館2階講堂

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月6日(火) 13:20～16:50	人権教育・同和教育の啓発	部落解放同盟新潟県連合会 書記長 長谷川 均 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式 ・開会挨拶 中越教育事務所長 ・祝辞 長岡市教育委員会 ○ オリエンテーション・ビデオ視聴 「同和問題 これからの課題 ～特別措置法の期限を迎えて」 (2002年東映(株)教育映像部制作) ○ 講義「新潟県内の部落差別の実態と同和行政、教育の課題」 ○ 説明「県教育委員会の社会同和教育の取組について」 県生涯学習推進課担当 西川昌宏 ○ 閉会式 ・閉会挨拶 中越教育事務所社会教育課長 	

成果

長岡市の広報誌でもPRして、社会教育委員、公民館運営審議会委員、生涯学習推進委員、人権擁護委員、行政職員等の他、3名の一般市民の参加もあり、幅広い範囲の方から参集いただいた。講師の講義も実例に即した内容で好評であった。半日ではあったが、研修が深まり、人権教育、同和教育の啓発に大きな効果があった。

課題

管内の市町村が主催している社会同和教育研修会は極めて少ない。社会教育関係者の意識を高めるためにも、実施回数や参加者数を増やしていく等の取組が必要である。また、義務教育課の事業等とも連携を図っていく必要がある。

問合せ先

新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課（担当：藤田豊明） TEL 0258-38-2652

事業名

団塊世代等社会参加促進モデル事業

目的

団塊の世代、高齢者の学習意欲と社会参加意識を喚起し、その知識・経験を社会活動につなげて地域の課題解決を図ることにより、生き生きとした高齢者を増加させるとともに地域の活性化を促進する。

実施主体

主催：新潟県教育委員会（主管：中越教育事務所）
共催：管内市町村生涯学習・社会教育主管課

【各市町村の取組】

事業名

「はぐくみサポーター育成セミナー」(十日町市)

目的

青少年の健全育成を目指して展開中の「はぐくみのまちづくり」の一環として、市民一人一人が“自分にできることをやってみよう”という意識をもち、「子どもたちの安心安全な環境づくり」と「子どもの地域参加」を目指す市民ボランティアを発掘・育成する。

参加対象

青少年関係団体で活動する市民、その他子育てや青少年育成に関心がある市民

参加者数

18名

回数

5回

日数

5日

時間

10時間

場所

十日町市中央公民館、十日町情報館他市内各地

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月10日（土） 14：00～16：00	現代の青少年を取り巻く様々な問題と問題行動を有する青少年に対する関わり方	新潟医療福祉大学 准教授 近藤あゆみ 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式 ・開会挨拶 ・趣旨説明 ・講師紹介 ○ 講義 ・現代青少年の「アルコール・薬物乱用と摂食障害」の現状とその関わり方について 	
2	7月24日（土） 14：00～16：00	地域の見守り活動の実践事例に学ぶ	上越市青少年健全育成センター 副所長 二見恵美子 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 前回の振り返り ○ 講義 ・地域の見守り活動について 	
3	7月31日（土） 14：00～16：00	子ども・若者への接し方	子ども劇場おやこ劇場新潟県センター代表 柳 弘紀 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 前回までの振り返り ○ 講義 ・子ども・若者への接し方について 	
回	期日・時間	テーマ	講師等
	8月7日（土） 14：00～16：00	青少年が地域活動に関わるために	NPO法人にいがた若者自立支援ネットワーク・伴走舎 様

4	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会・前回までの振り返り ○ 実践発表 ・世代を超えた地域づくりに若者が果たす役割 	
回	期日・時間	テーマ	講師等
5	8月9日(月) 14:00~16:00	現場体験見学「放課後の子どもの居場所づくり」	NPO法人『ほほえみ』様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休み子ども教室(児童52名 スタッフ15名)見学参加 ・空気鉄砲づくり ・ヨーヨー ・ポップコーン 	

事業名

「柏崎の微笑みの仏像ガイドサポーター養成講座」(柏崎市)

目的

柏崎には多くの木喰仏が残されており、貴重な地域の観光資源となっている。しかし、そのガイドは高齢化し、数も不足している。そこで、木喰仏を学習し団塊・シニア世代のボランティアガイドサポーターを養成することにより、地域の活性化を促す。

参加対象

柏崎市在住の団塊・シニア世代の市民

参加者数

20名

回数

4回

日数

4日

時間

14時間

場所

柏崎市立博物館、市民プラザ、長岡方面、十王堂・安住寺

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月9日(土) 10:00~12:00	木喰仏の魅力と鑑賞	柏崎市立博物館 学芸員 渡邊三四一様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式 ・開会挨拶・趣旨説明・講師紹介 ○ 講義 ・木喰上人と越後について・木喰仏の鑑賞と解説 	
回	期日・時間	テーマ	講師等
2	10月23日(土) 10:00~12:00	ガイド実践上の留意事項	長岡観光ボランティアガイドの会様
	方内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講義 ・ガイド実践上の留意事項 	
回	期日・時間	テーマ	講師等
3	11月6日(土) 9:00~16:30	現地学習	柏崎市立博物館 学芸員 渡邊三四一様
	方内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現地学習 ①西山 西光寺:十二神将 ②長岡 寶生寺:自身像・三十三観音 ③長岡 上前島金比羅堂:流れ木喰仏 ④小国 真福寺:仁王像ほか 	
回	期日・時間	テーマ	講師等
4	11月27日(土) 9:00~12:00	木喰仏のガイド	十王堂世話人 安住寺住職様
	方内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木喰仏のガイド練習 	

事業名

「読み聞かせボランティア養成講座」(津南町)

目的

この地域は、多くの住民が四季を通じて農作業に関わる生活を送ってきたので、農作業を通して家族や隣人と触れ合う時間や機会が多かったが、急激な生活の利便性の向上に伴い、現在は農作業に関わらない人々も多くなってきた。その結果、幅のある異年齢の交流機会や身近な地域の人々とのつきあいを知らない人が増えてきた。そこで、読み聞かせボランティアを介して、より多くの年代を超えた人と人のつながりや交流の中から、地域住民それぞれが協働して育ち合うことができる土台作りを目指す。

参加対象

20歳以上を含む団塊世代

参加者数

30名

回数

3回

日数

3日

時間

7時間

場所

津南町公民館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月27日(土) 13:00~16:30	「読み聞かせ」とはいったい何か	子どもの本研究所・大学講師 竹中 淑子 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式 <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 ・趣旨説明 ・講師紹介 ○ 講義 <ul style="list-style-type: none"> ・今の日本を知る、子どもと大人の違いを知る、絵本の魅力を知る 	
回	期日・時間	テーマ	講師等
2	12月4日(土) 13:30~15:30	「絵本」を使ってできること	JPIC読書アドバイザー 朝日 仁美 様
	方内 法容 ・	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講義 ①「絵本の性質を知る」 ②絵本ができること ③読み聞かせ技法の確認 	
回	期日・時間	テーマ	講師等
3	12月11日(土) 13:30~15:30	だれでもできる読み聞かせ	JPIC読書アドバイザー 朝日 仁美 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践 <ul style="list-style-type: none"> ・お話を子どもたちと一緒に聞く体験 ○ 講義 ①お話を体験して、先週の講義の復習と技能の確認 ②企画・選書について ③これからのボランティアとは 	

成果

団塊世代のモデル事業も3年目に入り、取組市町村、参加者数の拡大が図られた。いずれの講座にも、受講者は熱心に参加し、講座で知識や技能を学ぼうとする姿勢がうかがわれた。講座の途中で、既存のサークルに入会した参加者もあったことから、経験や実績のある参加者を交えての講座は、初心者がボランティアを始めるには有効な手だてとなっている。

課題

講座から、実践につなぐために見学や実習を実施しても全員がボランティアを始めたりサークルを立ち上げたりすることは難しい。主催者は、一人でも多くの参加者が実践につなげられればよいという構えを持ち、様々な情報提供や相談に応じていく姿勢が大切である。したがってどのような援助をしていったらよいか事前に計画しておく必要がある。

問合せ先

新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課 (担当 渡邊善則) TEL: 0258-38-2652

事業名

平成22年度 小・中・特別支援学校PTA指導者研修会

目的

PTA活動の活性化を図るため、小・中・中等教育・特別支援学校のPTA役員等を対象にPTA活動に関する研修を行い、指導者としての資質の向上をめざす。

実施主体

主催：新潟県教育委員会(主管：下越教育事務所) 共催：開催市教育委員会

参加対象

小・中・中等・特別支援学校のPTA役員及び会員、教職員、行政職員等

参加者数

243名 (佐渡82名、聖籠161名)

回数

各1回

日数

各1日

時間

各5時間

場所

1回目：佐渡市トキのむら元気館 2回目：聖籠町町民会館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月18日 5時間	『主体的に学び行動するPTAをめざして』 ～子育てを見つめて「子どものしつけ・親の役割」～	元新津国際交流協会事務局 山口 律子 様
	内容・方法	○講演 「日本の子育て、世界の子育て」 ～どこの国の親たちもそれぞれに工夫してがんばっています～ 主な講演内容 ・韓国や中国、アメリカなど諸外国の親の子育て観や教育事情 ・国は違うが親の役割や家族の役割、子どもへの接し方は変わらないこと ○分散会(ワークショップ) 主な内容 ・グループで3つの話し合いのテーマから1つ選んで、ワークショップを行う。最後に代表者が話し合いの概要を発表する。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	6月25日 5時間	『主体的に学び行動するPTAをめざして』 ～子育てを見つめて「子どものしつけ・親の役割」～	元新津国際交流協会事務局 山口 律子 様
内容・方法	○講演 「日本の子育て、世界の子育て」 ～どこの国の親たちもそれぞれに工夫してがんばっています～ 主な講演内容 ・韓国や中国、アメリカなど諸外国の親の子育て観や教育事情 ・国は違うが親の役割や家族の役割、子どもへの接し方は変わらないこと ○分散会(ワークショップ) 主な内容 ・グループで3つの話し合いのテーマから1つ選んで、ワークショップを行う。最後に代表者が話し合いの概要を発表する。		

成果

参加者一人一人の考えや日ごろの実践を引き出し、PTA活動の充実策について意見交換する場となった。また、分散会は参加者の98%から「大変よい・よい」との評価を得た。さらに、講演は諸外国の子育ての様子や教育事情等がよくわかる話で、ワークショップの話し合いに向けて参考になった。

課題

今回のワークショップによる話し合いが、各単位PTAにおいても実践されることが大切である。また、分散会の時間は2時間であるため、事前に司会者と話し合いのテーマや時間配分等を打ち合わせておくことが大切である。

問合せ先

新潟県教育庁下越教育事務所社会教育課(担当：宮本 均) TEL：025-231-8362

事業名

平成22年度 社会同和教育市町村巡回研修会

目的

すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、差別意識の払しょくを図り、人々の人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深め、問題の解決に資することができるよう啓発を図る。

実施主体

主催：新潟県教育委員会（主管：下越教育事務所） 共催：佐渡市教育委員会

参加対象

教育行政関係者、社会教育委員、公民館運営審議会委員、子ども会指導者、PTA・婦人会等社会教育関係団体の関係者、人権擁護委員、民生委員、社会福祉関係者、学校教育関係者、地域住民等

参加者数

90名

回数

1回

日数

1日

時間

5時間30分

場所

佐渡中央文化会館(アミューズメント佐渡)

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月13日(火) 10:00～15:30	社会同和教育の課題と今後のあり方について ～差別の現実から学ぶ～	部落解放同盟新潟県連合会 執行委員 高橋 加代子 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・開会式(10:00～10:15) あいさつ 遠藤 友春 (新潟県教育庁下越教育事務所長) 白杵 國男 (佐渡市教育委員会教育長) ・講演(10:15～11:45) 演題 『私と部落問題』－「関係ないよ」じゃないよ－ 講師 高橋 加代子 様 (部落解放同盟新潟県連合会執行委員) ・県所管事項の説明(12:45～13:15) 西川 昌宏 (新潟県教育庁生涯学習推進課社会教育主事) ・ビデオ視聴(13:15～13:45) 題名 「差別っていったい何やねん」 <歩く水平社宣言:川口泰司> ・研究協議会「分散会」(14:00～15:30) 5グループに分かれての協議会 	

成果

佐渡市が本研修会を職員研修の一環として位置付けたこと。また、佐渡市教育委員会社会教育課の働きかけにより、行政関係職員、人権擁護委員、社会教育委員、民生児童委員等の参加が得られた。今回の研修会への参加者は90名であった。

講演は、実体験に基づく内容で説得力があり、正しく理解していなかった人にも差別の実態が理解できる内容で、会場全体が聞き入る講演であった。

参加者の同和問題に関する学習経験や認識に違いはあるものの、分散会では活発な話し合いが行われた。

課題

参加者を募集する際の住民への広報の工夫、対象地域の教育委員会の協力や働きかけが不可欠である。

参加者の学習の深化を更に図るためにも、分散会への参加の促進とともに、参加者が互いの考えや思いを十分に話し合うための分散会の時間を確保する必要がある。

問合せ先

新潟県教育庁下越教育事務所社会教育課（担当：武石 由紀） TEL:025-231-8361

事業名

団塊世代等社会参加促進モデル事業「子育てサポーター養成講座」(新発田市)

目的

地域課題の解決に向け、必要な知識・能力を身に付ける「学習」、その成果を生かした「実践」、この「学習」「実践」の機会や場を団塊世代や高齢者などに提供し、地域力の向上を図る。

実施主体

新潟県教育委員会、新発田市教育委員会

参加対象

団塊世代及びその前後の一般市民

参加者数

24名

回数

6回

日数

6日

時間

各2時間

場所

新発田市生涯学習センター他

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月24日 2時間	「乳幼児期の特性と親の気持ち」	新潟県立大学 教授 斎藤 裕 様
	内容・方法	○講義「小さい子をもつお母さんの気持ち」 ～子育て中の親の心理とそのサポートのあり方について～ 主な講義内容(講義資料あり) ・育児不安について ・どうしたら、よりよいサポートができるか ・自分(自己)の生きがいを高める ○演習「乳幼児と接するために」 ○振り返り ・本日の感想等を記入する。	
2	8月25日 2時間	「子育て支援ってどんなこと」	子育て応援施設 代表 新保 まり子 様
	内容・方法	○講義「子育て応援施設・ドリームハウス」の取組から 主な講義内容 ・ボランティアの心構え ・母親がドリームハウスに求めたもの ・ボランティアとしてできること ・施設での取組の様子 (DVD視聴と説明) ○話し合い「子育て支援に取り組むために」 ○振り返り ・本日の感想等を記入する。	
3	8月31日 2時間	技術を高める I 「乳幼児にもっと本に親しませるには」	読書ボランティア「おはなしのとびら」会員 永松 利恵子 様
	内容・方法	○講義「乳幼児にもっと本に親しませるには」 主な講義内容 ・本の世界は夢いっぱい(乳幼児期の本の効果) ・本に親しませるやり方はこれだ ○演習「本を選んでやってみましょう」 ・グループを編成し、各自が読み聞かせを行い、発表し合う。 ○振り返り ・本日の感想等を記入する。	

	期日・時間	テーマ	講師等
4	9月 2日 2時間	技術を高めるⅡ「乳幼児の救急法」いざという時のために	日本赤十字新潟県支部 指導員 今井裕子 様
	内容・方法	○講義「突然起こり得る事故と病気について」 主な講義内容 ・乳幼児の事故発生時の対処法 ・乳幼児の病気発生時の対処法 ○演習「心肺蘇生法とAED使用法について」 ・幼児ダミーを使って、一人一人が演習を行う。 ○振り返り ・本日の感想等を記入する。	
	期日・時間	テーマ	講師等
5	9月 7日 2時間	施設見学「保育園見学」かかわり方を学ぼう(西園保育園訪問)	新発田市立西園保育園 園長 中村 栄子 様
	内容・方法	○講義「近年の乳幼児と親について」 主な講義内容 ・近年の乳幼児と親について感じる事 ・保育園内の見学と説明 ○演習「保育園年長児と接してみよう」 ・折り紙や絵本、じゃんけんなどを使って ○振り返り ・本日の感想等を記入する。	
	期日・時間	テーマ	講師等
6	9月 8日 2時間	「子育て支援、私にできることはこんなこと」	下越教育事務所社会教育課 社会教育主事 宮本 均
	内容・方法	○事例紹介 主な内容 ・子育て支援グループ「いちごみるく」(阿賀野市)の事例紹介 ・新発田市社会福祉協議会の取組概要説明 ○話し合い ・参加者の意見交換(子育て支援ボランティア活動の計画立案) ・今後の活動を支えるコーディネーターの決定	

成 果	<p>参加者が学びの成果やこれまでの経験や知識を活かして、子育て支援ボランティア活動を行おうという意識をもたせることができた。</p> <p>養成講座終了後、コーディネーターが中心となって、新発田市社会福祉協議会が行う「ほのぼの家族」(子育て支援センター“みなみプラザ”)で、月1回程度の子育て支援ボランティア活動を行うことができた。</p>
課 題	<p>現在、行っている子育て支援ボランティア活動を今後も継続させるための支援策や新たな活動の場を設定していくことが必要である。</p> <p>「できる時に、できることを」行うのがボランティア活動である。このことを参加者に伝え、各自が地域の実情に即した活動を主体的に創造させることが大切である。</p>

問合せ先 新潟県教育庁下越教育事務所社会教育課(担当：宮本 均) TEL：025-231-8362

事業名

団塊世代等社会参加促進モデル事業「子育てサポーター養成講座」(胎内市)

目的

地域課題の解決に向け、必要な知識・能力を身に付ける「学習」、その成果を生かした「実践」、この「学習」「実践」の機会や場を団塊世代や高齢者などに提供し、地域力の向上を図る。

実施主体

新潟県教育委員会、胎内市教育委員会

参加対象

団塊世代及びその前後の一般市民

参加者数

23名

回数

6回

日数

6日

時間

各2時間

場所

黒川地区公民館他

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月26日 2時間	「乳幼児期の特性と親の気持ち」	新潟県立大学 教授 斎藤 裕 様
	内容・方法	○講義「小さい子をもつお母さんの気持ち」 ～子育て中の親の心理とそのサポートのあり方について～ 主な講義内容(講義資料あり) ・育児不安について ・どうしたら、よりよいサポートができるか ・自分(自己)の生きがいを高める ○演習「乳幼児と接するために」 ○振り返り ・本日の感想等を記入する。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	8月27日 2時間	「子育て支援ってどんなこと」	子育て応援施設 代表 新保 まり子 様
内容・方法	○講義「子育て応援施設・ドリームハウス」の取組から 主な講義内容 ・ボランティアの心構え ・母親がドリームハウスに求めたもの ・ボランティアとしてできること ・施設での取組の様子 (DVD視聴と説明) ○話し合い「子育て支援に取り組むために」 ○振り返り ・本日の感想等を記入する。		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	9月10日 2時間	技術を高める I 「乳幼児にもっと本に親しませるには」	胎内市図書館 司書 河俣 博子 様
内容・方法	○講義「乳幼児にもっと本に親しませるには」 主な講義内容 ・本の世界は夢いっぱい(乳幼児期の本の効果) ・本に親しませるやり方はこれだ ○演習「本を選んでやってみましょう」 ・グループを編成し、各自が読み聞かせを行い、発表し合う。 ○振り返り ・本日の感想等を記入する。		

	期日・時間	テーマ	講師等
4	9月13日 2時間	施設見学をとおして学ぼう(子育て支援センター「ほっとHOT・中条」訪問)	胎内市健康福祉課 係長 佐藤 恵子 様
	内容・方法	○取組紹介「胎内市の子育て支援センターの取組紹介」 主な紹介内容 ・開設日や開設時間、対応職員や利用状況等 ・ボランティアとして心がけること ○子育て支援センター「きらら」の視察と活動支援 ・自己紹介 ・遊び歌や紙芝居を行い、子育て支援活動に協力する。 ○振り返り ・本日の感想等を記入する。	
	期日・時間	テーマ	講師等
5	9月14日 2時間	技術を高めるⅡ「乳幼児の救急法」いざという時のために	日本赤十字新潟県支部 指導員 今井裕子 様
	内容・方法	○講義「突然起こり得る事故と病気について」 主な講義内容 ・乳幼児の事故発生時の対処法 ・乳幼児の病気発生時の対処法 ○演習「心肺蘇生法やAED使用法について」 ・幼児ダミーを使って、一人一人が演習を行う。 ○振り返り ・本日の感想等を記入する。	
	期日・時間	テーマ	講師等
6	9月22日 2時間	「子育て支援、私にできることはこんなこと」	下越教育事務所社会教育課 社会教育主事 宮本 均
	内容・方法	○事例紹介 主な内容 ・子育て支援グループ「ぼっかぼかむらかみ」(村上市)の事例紹介 ・胎内市健康福祉課の取組概要説明 ○話し合い ・参加者の意見交換(子育て支援ボランティア活動の計画立案)	

成 果	<p>参加者が学びの成果やこれまでの経験や知識を活かして、子育て支援ボランティア活動を行おうという意識をもたせることができた。</p> <p>養成講座終了後、受講生が市内の子育て支援センター「きらら」に月1回程度、子育て支援ボランティアとして活動を行っている。</p> <p>市健康福祉課と事業を連携して行い、社会参加活動も連携して支援している。</p>
課 題	<p>現在、行っている子育て支援活動を今後も継続するために、ボランティア活動を行う新たな人材を集め、養成することが必要である。</p> <p>養成講座を実施する際、事業担当者(企画者)と講師との綿密な打ち合わせが必要である。</p>

問合せ先 新潟県教育庁下越教育事務所社会教育課(担当:宮本 均) TEL:025-231-8362

事業名
目的
実施主体
参加対象
回数
場所
内容

生涯学習職員研修「基礎研修会」

生涯学習・社会教育関係職員等の資質向上を図るために必要な基礎的・基本的事項について研修し、生涯学習の推進を図る。

新潟県立生涯学習推進センター

市町村生涯学習・社会教育関係職員等

参加者数

延べ68名

3回

日数

4日

時間

20時間

新潟県立生涯学習推進センター大研修室・コンピュータ室

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月2日(水) ～3日(木) 10:30～16:30	生涯学習・社会教育事業への挑戦 「はじめの一歩から」	講師：新潟県立生涯学習推進センター 所長 松井周之輔 副参事 内藤 薫 発表：魚沼市教育委員会生涯学習室 主事 内田 昌登 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年、基礎研に参加した方から1年間の取組の様子や苦勞を聞いた。その後グループワーク。 ・「生涯学習における社会教育の役割」「事業の企画及びプログラム作成の視点と手順」を講義した。 ・グループ内で事業計画及び学習展開計画を作成し発表した。 	
2	8月31日(火) ～9月3日(金) の中の1日	実践につなげよう	講師：新潟県立生涯学習推進センター 副参事 内藤 薫
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画のチェックとリデザイン(再検討)の意義やその仕方を説明。その後、各自が作成した事業計画をグループワークしながら再検討し、作成し直した。 	
3	11月9日(火) ～12日(金) の中の1日	広報・広聴のあり方を考える	講師：新潟県立生涯学習推進センター 副参事 内藤 薫 社会教育主事 渡辺 亜紀
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育における広報・広聴について説明した。 ・チラシづくりのポイントを説明し、各自が作成して来たチラシを再度検討し、作成した。 	

成果

全てセンター職員が講師となることにより、その都度話し合いながら参加者のためになる研修を目指すことができた。

課題

研修に参加して成果があった98.4%、今後役に立つ98.4%と研修に満足している。グループワークが少ないという声がある。参加者同士の話し合いを工夫していきたい。2回目・3回目の期間は、人数が少ない日があることから、期間を検討する。

問合せ先

新潟県立生涯学習推進センター学習振興課(担当：田邊寿夫) TEL：025-284-6110

事業名**社会教育主事専門講座****目的**

県内の生涯学習・社会教育関連機関で活躍している社会教育主事のコーディネーターとしての専門性を高め、県内の生涯学習・社会教育の推進を図る。

実施主体

新潟県立生涯学習推進センター

参加対象

県・市町村の教育委員会において社会教育主事として発令されている者

参加者数

15名

回数

1回

日数

2日

時間

7時間

場所

新潟県立生涯学習推進センター大研修室

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
	10月26日（火） 10:00～16:00 10月27日（水） 10:00～12:00	社会教育主事としてのスキルアップを図り、実践化につなげる。	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 社会教育調査官 工藤 朝博 様 八州（やしま）学園大学 教授 浅井 経子 様
1	内容・方法	<p>○第1日目 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター社会教育調査官 工藤 朝博 様 講義「社会教育主事に求められる資質と能力を考える」 社会教育とは何かを振り返り、家庭教育・学校教育・社会教育のそれぞれの活動の場と教育活動の時期について理解を深めた。その後、生涯学習・社会教育の歴史的な背景と社会教育主事の役割と求められる資質と能力について説明した。 演習「コーディネーターとしての能力を高める～コミュニケーションや組織化援助能力～」 (13:00～16:00)</p> <p>前半は、コーディネーターの定義を解説した。後半は、コーディネートの手法を演習した。学校支援地域本部事業について4人グループになり、1人がコーディネーター役になり、あとの3人が学校・家庭・地域の役となり、そのデメリットの考えを出し合い、コーディネーター役がどのように対応するのか協議する手法で進めた。</p> <p>○第2日目 講師 八州学園大学 教授 浅井経子 様 講義「地域をコーディネートする社会教育」 (10:00～12:00) 徳島県上勝町等を例にしながら、社会教育が盛んになることにより、地域の教育力は向上する。実施する事業にも、学校・家庭・地域が重要となる。コーディネーターには、その目的を実現するために足で稼ぎ、コミュニケーションを通して地域を知り、地域をコーディネートしていく努力が必要である。</p>	

成果

少人数の研修であったが、参加者はやる気のある職員ばかりで前向きに研修に臨んでいた。
コーディネート力の向上を中心の2日間のプログラムであったが、参加者のスキルを高めることができた。

課題

参加者が非常に少なく残念であった。次年度は、期日・場所を考慮しながら、出前講座も含め社会教育主事の専門性を高める取組を考えていきたい。

問合せ先

新潟県立生涯学習推進センター学習振興課（担当：田邊寿夫）TEL：025-284-6110

事業名

生涯学習職員研修「リーダー研修会」

目的

県内のさまざまな地域課題に対応した生涯学習・社会教育の更なる推進が求められている中で、課長・係長級等リーダーの業務遂行に必要な企画力・運営力を高める。

実施主体

新潟県立生涯学習推進センター

参加対象

市町村生涯学習・社会教育機関関係課長又は係長、公民館長等

参加者数

35名

回数

1回

日数

1日

時間

2時間

場所

新潟県立生涯学習推進センター大研修室

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月27日（水） 10:00～12:00	元気な地域づくりのヒントをさぐる	八州学園大学 教授 浅井 経子 様
内容・方法	<p>講義「地域をコーディネートする社会教育」</p> <p>平成18年の改正教育法で「生涯学習」という言葉が使われ「その成果を適切に生かすことのできる社会の実現」という条文で生涯学習支援の範疇が拡大した。その結果、従来のコーディネート共に、学習成果の活用という視点でのコーディネートの役割が重要になってきた。</p> <p>徳島県上勝町では、寿司屋の寿司に添えられたもみじの葉をヒントに「つまもの」で商売を始めた。高齢者が販売促進のチラシづくりのためにパソコンを習ったり、葉を取るために野山に出かけたりしながら生き生きと働いている。住民がさまざまな活動に参加して、何かを学ばなければ生き生きとした地域は生まれない。自分の生きがいのために学習する人も多いが、学んだことが何らかの形で自分や地域に戻って来なければ、心からの満足はできない。自分の得たものを地域に還元することによって「自分が存在していてよかった。役だった」という自覚が生まれる。こういった人と地域の関係を実現するためには、学習活動と学習成果をどうコーディネートするかという視点が必要である。</p> <p>社会教育が盛んになることにより、地域の教育力は向上する。実施する事業にも、学校・家庭・地域が重要となる。コーディネーターには、その目的を実現するために足で稼ぎ、コミュニケーションを通して地域を知り、地域をコーディネートしていく努力が必要である。</p>		

成果

地域を活性化するために社会教育のコーディネートが大切であるということが分かった、という感想を聞くことができた。

課題

半日日程であるが、講義と演習を入れた研修について検討する。

問合せ先

新潟県立生涯学習推進センター学習振興課（担当：田邊寿夫）TEL：025-284-6110

事業名 古文書初級解読講座（夏季・秋季）**目的**

古文書解読を通じて「文書等」の保存について、啓発（意義や方法）・普及を図る。
「文書等」を教材とし、新潟県や県内各地域の歴史に対する理解を深める学習機会を
県民に提供する。

実施主体

新潟県立文書館

参加対象

一般県民

参加者数

186名（申込数）

回数

各5回

日数

各5日

時間

各10時間

場所

夏季：燕市分水公民館 秋季：新潟県立文書館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月4日 ～7月2日 (毎週金曜日) 13:30～15:30	夏季古文書初級解読講座	講師： 新潟県立文書館 主任文書研究員 尾崎 法子
	内容・方法	県内各地域に残された近世・近代文書をテキストとして用い、文字の解読・時代背景や関連事項の解説を行った。あわせて、文書の扱い方や保存の意義とその実際についても説明した。	
2	10月1日 ～29日 (毎週金曜日) 13:30～15:30	秋季古文書初級解読講座	講師： 新潟県立文書館 副館長 本井 晴信
	内容・方法	県内各地域に残された近世・近代文書をテキストとして用い、文字の解読・時代背景や関連事項の解説を行った。あわせて、文書の扱い方や保存の意義とその実際についても説明した。	

成果

夏季の申込数はやや少なかったが、延べ数では昨年度に比べ28名増加した。講座内容についても、解読だけでなく時代背景等の詳細な解説も含むことが高く評価されている。

課題

特記事項なし

問合せ先

新潟県立文書館（担当：田辺芳春）TEL：025-284-6011

事業名

古文書専門学習会(5月・7月・9月・12月・3月)

目的

所蔵資料を用いた中級者向けの特定のテーマに沿った歴史講座を提供する。

実施主体

新潟県立文書館

参加対象

一般県民

参加者数

305名(1~4回)

回数

5回

日数

6日

時間

12時間

場所

新潟県立文書館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月22日(土) 13:30~15:30	5月古文書専門学習会 「お江戸の大ベストセラー『武鑑』を読み解く」	新潟県立文書館 主任文書研究員 尾崎 法子
	内容・方法	文久3(1863)年に出版された「武鑑」をテキストとし、土佐・長州・薩摩の各藩と県内諸藩の内容を読み解く。	
2	7月24日(土) 13:30~15:30	7月古文書専門学習会 「明治期の政治家の書状をよむ」	新潟県立文書館 嘱託員 高野 まりい
	内容・方法	第1次護憲運動を展開した尾崎行雄と政党政治を推進した犬養毅が、新潟を代表する政治家であった坂口仁一郎に宛てた書状の精読を通じて、明治期の政治家が何を考え、何を目指そうとしたのか、読み解く。	
3	9月25日(土) 13:30~15:30	9月古文書専門学習会 「明治期の学校を支えた人たち~学務委員と小学校~」	新潟県立文書館 主任文書研究員 田辺 芳春
	内容・方法	明治18(1885)年当時、見附地域の教育行政に携わった学務委員が南蒲原郡長に宛てた「開申」という文書を読み解き、明治前期の学校をめぐる一地方の現実や問題点を理解する。	
4	12月18日(土) 13:30~15:30	12月古文書専門学習会 「文明開化と佐渡の牛~牛乳飲用のはじまり~」	新潟県立文書館 嘱託員 笠井 希予志
	内容・方法	佐渡郡役所文書に残された、乳牛の売買に関する相川県と新潟県の往復書簡を読み解き、明治維新後の牛乳消費のあり方と西洋文化流入の背景を理解する。	
5	3月12日(土) 13日(日) 13:30~15:30	3月古文書専門学習会 「(テーマ未定)」	新潟県立文書館 嘱託員 菅瀬 亮司
	(未定)		

成 果

前年度の試行を経て本年度より本格的に実施した当学習会は、回数を重ねる毎に参加者も増加し、一定の評価を得つつある。

課 題

特記事項なし

問合せ先

新潟県立文書館（担当：田辺芳春） TEL：025－284－6011

事業名 越前浜チャレンジセミナー

目的 青少年指導者としての専門的な知識・技術を体験的に学び、地域や職場における指導者の養成及び資質の向上を図る。

実施主体 新潟県立青少年研修センター

参加対象 18歳以上の青年、青少年指導者等（高校生を除く）

参加者数 延べ54名

回数 3回 **日数** 各回 1泊2日

場所 新潟県立青少年研修センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月15日（土）～ 5月16日（日）	第1回 レクリエーション編	ひの社会教育センター 中能 孝則 様
	内容・方法	・ レクリエーション実習を通してレクリエーションの基礎指導法を研修すると共に、望ましい人間関係のあり方について学ぶ。	
2	7月10日（土）～ 7月11日（日）	第2回 構成的グループエンカウンター編	村上市立塩野町小学校長 吉澤 克彦 様
	内容・方法	・ 人間関係づくりや自己発見に効果を上げている構成的グループエンカウンター（SGE）の実習を行い、基本的なエンカウンター体験実習から自己理解や自己発見、信頼体験や感謝のエンカウンターを体験することで青少年指導者としての資質と指導力の向上を図る。	
3	9月11日（土）～ 9月12日（日）	第3回 環境教育指導者養成編	佐潟水鳥湿地センター 佐藤 安男 様
	内容・方法	・ 環境教育における指導者を育成するため、佐潟とその周辺の自然環境を保護する取組を体験的に学ぶ。	

成果 地域や職場でのリーダーが事業を企画する際の知識・技術及びヒントを十分に提供できた内容である。
リピーター参加者も多くなってきており、参加者一人ひとりが青少年指導者としての力を備えてきている。

課題 関心の高い内容にすること、また、広報の方法を工夫することで申込者数を増やすことを考えなければならない。

問合せ先 新潟県立青少年研修センター 研修課 TEL：0256-77-2111

事業名 家族でとびだせ！おもしろ体験ランド

目的 家族の絆を強めるとともに、地域での指導力の向上を図る。

実施主体 新潟県立青少年研修センター

参加対象 家族、親子（子どもは小学生以上）

参加者数 延べ162名（参加者数は、実施済みの第1回と第2回の合計）

回数 3回 **日数** 各回 1泊2日

場所 新潟県立青少年研修センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月24日（土）～ 7月25日（日）	第1回「楽しもう！家族みんなで夏を！」	マリンピア日本海 野村 卓之 様 巻漁港・新潟県農林水産部職員様 青少年研修センター研修課職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 海辺での活動（海浜レク、イカの一晩干しづくり、刺し網体験等）や手作り工作などを通して、家族・親子間の絆を強める。 青少年指導者として、夏の体験活動の知識と実践力を身に付ける。 	
2	10月16日（土）～ 10月17日（日）	第2回「楽しもう！家族みんなで秋を！」	青少年研修センター研修課職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 芋掘りなどの農業体験やハロウィン体験などを通して、家族・親子間の絆を強める。 青少年指導者として、秋の体験活動の知識と実践力を身に付ける。 	
3	2月26日（土）～ 2月27日（日）	第3回「楽しもう！家族みんなで冬を！」	青少年研修センター研修課職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 餅つき、昔あそび、キャンドルファイヤー、手作り工作などを通して、家族・親子間の絆を強める。 青少年指導者として、冬の体験活動の知識と実践力を身に付ける。 	

成果 親子で協力して取り組むメニューを用意したことで、参加者の多くから家族のふれあいの時間がとれた好評であった。
地域の産業や自然を生かした活動にしたことにより、参加した親からPTA活動の参考にしたいことの感想が寄せられた。

課題 事業参加を機会に子供会等の行事に積極的にかかわるような意識がもてるように内容や取組方法を考えていくことが必要である。今年度は、参加家族同士のネットワークづくりを期待して、希望した参加家族には同室宿泊を試みた。

問合せ先 新潟県立青少年研修センター 研修課 TEL：0256-77-2111

事業名	青少年指導者グループワーク研修		
目的	グループワークトレーニング研修を通して、青少年指導者の資質や指導力の向上を図る。		
実施主体	新潟県立青少年研修センター		
参加対象	18歳以上の教員、青少年教育担当者等（ただし、高校生を除く）		
参加者数	30名		
回数	1回	日数	各回 1泊2日
場所	新潟県立青少年研修センター		
内容			

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月20日（土）～ 11月21日（日）	ラボラトリー形式の体験学習技法であるグループワークトレーニングを体験する。	日本グループワークトレーニング協会 三好 良子 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 自己概念について学ぶ。 コミュニケーションについて学ぶ。 コンセンサスについて学ぶ。 GWT技法について学ぶ。 協力について学ぶ。 グループワークプロセスについて学ぶ。 	

成果	多くの受講者から期待していた内容であったとの評価であった。 研修内容は減らさずに研修日数を2泊3日から1泊2日にしたことは、参加しやすくなってよかったとの感想があった。
課題	自らの技量をさらに高めたい参加者が多数おり、また、新規参加者もいることを踏まえれば関心の高さが想像できる。受講機会の検討等、受講者のレベルに応えられる研修の持ち方を考えなくてはならない。

問合せ先 新潟県立青少年研修センター 研修課 TEL：0256-77-2111

事業名 カヌーに親しもう

目的 カヌーの楽しさを体験し、海洋スポーツに対する関心を高める。
家族一緒に活動を通して、ふれあいを深める。

実施主体 新潟県少年自然の家

参加対象 小学校4年生～中学生を含む家族

参加者数 151名

回数 2回(4コマ) **日数** 2日

時間 各コマ3時間

場所 胎内川河口周辺・新潟県少年自然の家艇庫前

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月24日(土) 午前の部 9:00～12:00 午後の部 13:00～16:00	家族みんなで体験しよう！カヌーの楽しさを！！ 水上で深めよう！家族のふれあいを！！	新潟県少年自然の家職員
	内容・方法	○ 胎内川及び河口でのカヌーの初歩的な操作方法を習得するとともに、夏の川をカヌーで漕ぐことを通して、自然の様子を観察し、家族のふれあいを深めた。 ○ 風が強く、海には白波がたっていたため、個人の技能差により、カヌーで河口付近まで漕ぎ出す家族、艇庫付近でカヌーを楽しむ家族に分かれて、カヌーの楽しさを体験した。	
2	8月21日(土) 午前の部 9:00～12:00 午後の部 13:00～16:00	家族みんなで体験しよう！カヌーの楽しさを！！ 水上で深めよう！家族のふれあいを！！	新潟県少年自然の家職員
	内容・方法	○ 胎内川及び河口でのカヌーの初歩的な操作方法を習得するとともに、夏の川をカヌーで漕ぐことを通して、自然の様子を観察し、家族のふれあいを深めた。 ○ 好天に恵まれ、カヌーで日本海に漕ぎ出すことに家族で協力しながら挑戦し、海でのカヌーの楽しさを体験した。	

成果 今年度も昨年同様、午前の部、午後の部を設け、1日に2回実施した。夏休み開催だったことで多数の応募があり、参加者はカヌーの楽しさを十分に体験し、家族とのふれあいを満喫した。

課題 天候に左右される事業である。3時間のカヌー体験では、最低2つの体験コースが必要である。今回は家族や個人の技能レベルに合わせて、海にチャレンジコースと川でゆったりコースを設定した。海に出る場合のスタッフの人員確保、安全管理が絶対条件となる。
今年は猛暑に見舞われ、水分補給を欠かすことができなかった。参加者のほうで水分の確保は当然であるが、主催者としては確実な給水時間の確保が課題である。

問合せ先 新潟県少年自然の家 指導課(担当 相澤 祐助) TEL: 0254-46-2224

事業名
目的
実施主体
参加対象
回数
場所
内容

自然・ふれあい！家族のつどい

春・秋・冬の自然体験を通して、家族のふれあいを深め豊かな情操や社会性を育てる。

新潟県少年自然の家

小・中学生を含む家族

参加者数 222名

3回

日数

各回1泊2日

時間

各回24時間

新潟県少年自然の家（胎内市乙字大日裏）

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月24日(土) ～4月25日(日)	春が来た！山菜採りとちまきづくり	新潟県少年自然の家職員 地元の女性
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の家周辺で採れる山菜について説明を行った後、山菜採りを実施し、夕食で山菜料理を満喫した。 ○ 越後名物のちまきづくりや自然の家赤松林でのフォトオリエンテーリングで、家族のふれあいや他家族との交流を深めたり、自然とふれ合ったりした。 	
2	9月18日(土) ～9月19日(日)	秋の味覚を楽しもう！ アウトドアクッキング&ワクワク胎内	新潟県少年自然の家職員 胎内市農林水産課職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大鍋を使って、秋の味覚盛りだくさんのアウトドアクッキングを行い、他家族との交流を深めた。 ○ ヤギさんの乳しぼり体験やヤギ乳のアイスクリームづくりのプログラムを胎内市と協力して行い、ヤギとのふれあいを楽しむと共に、胎内市の魅力を体感した。 	
3	12月4日(土) ～12月5日(日)	自然の家のクリスマス！ グラスキャンドルファイアとリース作り！	新潟県少年自然の家職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ クリスマスクッキングやグラスキャンドルファイアを通じて、家族のふれあいや他家族との交流を深めた。 ○ 敷地内の自然素材を活かしたクリスマスリースづくりの活動を通して、冬の自然に親しんだ。 	

成果

参加者からは、様々な自然体験活動を通して家族のふれあいが深まり、他家族とのかわりがもてたり、貴重な体験ができたりしたと好評であった。

課題

広く県民に事業を広報し、より多くの市町村からの参加を促すことと、初参加の家族の増加を図っていく。

問合せ先

新潟県少年自然の家 指導課（担当 出頭 久美子） TEL:0254-46-2224

事業名**映画鑑賞会****目的**

展覧会に関連のある映画を上映し、鑑賞活動を深める一助とする。
 国内外の名画や記録映画を上映し、美術館に親しむ機会とする。

実施主体

新潟県立近代美術館

参加対象

一般

参加者数

755人

回数

14回

日数

7日

時間

各回約2時間

場所

新潟県立近代美術館講堂

内容

回	期日・時間	テーマ
1	4月17日(土) 1回目10時～2回目14時～	ドキュメンタリー 十二人の写真家
	内 容	製作当時、一線で活躍していた木村伊兵衛、濱谷浩、土門拳ら12人の写真家の撮影の模様を記録したドキュメンタリー映画。
2	5月22日(土) 1回目10時～2回目14時～	続・映画で見る昭和30年代の日本・家族の幸福『親子編』
	内 容	30年代の良さを見直すことによって、本当の幸せとは何かを考えさせてくれる映画。
3	7月24日(土) 1回目10時～2回目14時～	天井桟敷の人々
	内 容	1980年のキネマ旬報日本公開映画外国映画史上ベストワンに選ばれた1945年公開フランス映画の傑作。
4	8月7日(土) 1回目10時～2回目14時～	長編アニメーション映画 ハードル
	内 容	主人公はいじめに傷つきながらも、自分の心の壁(ハードル)を乗り越え、また自分が生きていくために勇気を奮い起こし立ち上がる姿を描いた感動のアニメ。
5	8月21日(土) 1回目10時～2回目14時～	モディリアーニ 真実の愛
	内 容	モンマルトルに集った芸術家たちの生き様を追いながら、悲劇的な最期を遂げた天才画家モディリアーニとその妻ジャンヌの、美術史上最も壮大な真実の愛の物語。

期日・時間		テーマ
6	9月25日(土) 1回目10時～2回目14時～	ローマの休日
	内 容	王女と新聞記者との切ない1日の恋を描いている。トレビの泉や真実の口など、永遠の都・ローマの名だたる観光スポットを登場させていることでも有名。
期日・時間		テーマ
7	10月16日(土) 1回目10時～2回目14時～	ポンペイ最後の日
	内 容	ローマ帝国隆盛のころ、鍛冶屋職人から闘技場の戦士となり、その後奴隷商人となった男の波乱万丈の半生を、ポンペイ大地震をからませながら描いたスペクタクルロマン大作。

成果

・ 企画展に対応し、展覧会をより深く鑑賞していただける上映会を用意した結果、集客も多く好評であった。

課題

・ 全て無料で鑑賞できるようになってはいたが、場合によっては企画展の半券持参にして確実に展覧会の鑑賞と結びつくようなシステム作りが必要である。

問合せ先

新潟県立近代美術館学芸課

電話：0258-28-4112

事業名**美術鑑賞講座****目的**

美術に関する講座を行い、美術館や美術作品に親しむ機会とする。

実施主体

新潟県立近代美術館

参加対象

一般

参加者数

247人(第9回まで)

回数

10回

日数

10日

時間

各回約90分

場所

新潟県立近代美術館講堂

内容

回	期日・時間	テーマ
1	5月1日(土)14時～	ドキュメンタリー 十二人の写真家
	内容	「日本の自画像 写真が描く戦後 1945-1964」展に出品された石元泰博、川田喜久治、木村伊兵衛、田沼武能、東松照明、土門拳、長野重一、奈良原一高、濱谷浩、林忠彦、細江英公らの写真表現や展覧会の見どころについて紹介。
2	6月12日(土)14時～	郷土の作家シリーズ1 小野末/竹谷富士雄/三芳悌吉
	内容	大自然や闘牛をテーマとした小野、早くから渡仏しパリの街並みを描いた竹谷、顕微鏡絵から出発し絵本原画や挿絵なども精力的に手がけた三芳について、その功績を紹介。
3	5月29日(土)14時～	近代日本美術史入門1 近代の工芸
	内容	日本の近代工芸について、近世の輸出工芸作品がパリ万国博覧会の時代から第8回帝展に第四部として工芸部が設立されるまでの工芸史の流れを中心に紹介。
4	6月26日(土)14時～	近代日本美術史入門2 昭和期の日本画
	内容	近代日本画について、古典の復興とモダニズムとが交錯する戦前期、「日本画滅亡論」によって価値観の転換を余儀なくされた戦後期、それぞれの時代を振り返りながら、代表作を紹介。
5	7月3日(土)14時～	近代日本美術史入門3 戦後美術
	内容	戦後日本美術の流れを、世界の美術情勢の影響を踏まえながら、作家の美術に対する概念の変化がどのように生み出され、どのように作品自体を変貌させたかを紹介。
6	7月31日(土)14時～	ユトリロの生涯とパリ
	内容	ユトリロが描いたパリの街並みやフランスの風景を様々な角度から分析すると同時に、数多くの伝説に彩られたその人生を紹介し、ユトリロ芸術の魅力を紹介。
7	8月14日(土)14時～	ユトリロの時代～エコール・ド・パリの芸術家たち～
	内容	ユトリロと同時代に活動した「エコール・ド・パリ」とよばれる芸術家たちの活動や功績を、時代状況や芸術家間の交流を踏まえて紹介。
8	10月23日(土)14時～	ポンペイ壁画とヘレニズム・ローマ時代の絵画
	内容	ローマ時代の絵画の貴重な作例であるポンペイ壁画を中心に、その基盤となったヘレニズム絵画の影響も含め、ギリシャ・ローマ・ポンペイの絵画を総合的に紹介。
9	11月6日(土)14時～	ポンペイの遺産—いわゆる「古代印象主義」と西洋中世の絵画
	内容	西洋中世に継承あるいは復興された絵画と、ポンペイ壁画をはじめとする古代の絵画とを比較しながら、その関係を紹介。
10	2月19日(土)14時～	郷土の作家シリーズ2 牧野虎雄
	内容	文展や帝展で活躍し、帝国美術学校や多摩帝国美術学校で後進の指導や学校創設に尽力した、洋画家・牧野虎雄の功績について、人柄と作品を交えながら紹介。

成果	企画展に対応し、展覧会を含め、より質の高い学習機会を県民に提供できた。参加者からもおおむね好意的な意見が寄せられた。
課題	講座が専門的である講座と一般的で親しみやすい入門的な講座など内容を工夫して、より多くの人たちに美術文化に接してもらう機会を提供する必要がある。

問合せ先

新潟県立近代美術館学芸課 電話 0258-28-4112

事業名**特別イベント（講演会、コンサート等）****目的**

講演会、コンサート等を行いより深く、展覧会を味わう機会とする。

社会教育、学校教育との連携を深め、県民の美術を愛好する資質の向上に貢献する。

実施主体

新潟県立近代美術館

参加対象

一般

参加者数

1991人

回数

17回

日数

16日

時間

各回約30分から90分

場所

新潟県立近代美術館講座室 企画展示室 常設展示室 他

内容

回	期日	テーマ	講師等
1	4月24日(土)	講演会：“阿美共感”とこのころの時代 「奈良の古寺と仏像展」関連講演会	興福寺貫主 多川俊映様
2	4月29日(木)	特別講演会：デジカメでモノクロ写真を撮ろう 「日本の自画像 写真が描く戦後」関連講演会	新潟県写真家協会 会長 上山益男様
3	5月2日(祝・日)	講演会：やさしい仏像の見方 「奈良の古寺と仏像展」関連講演会	新潟市會津八一記念 館館長 神林恒道様
4	5月8日(土)	講演会：法隆寺の美術と中宮寺菩薩半跏像 「奈良の古寺と仏像展」関連講演会	新潟県立近代美術館 名誉館長 水野敬三郎様
5	5月16日(日)	作品解説：中宮寺菩薩半跏像の謎 「奈良の古寺と仏像展」関連講演会	新潟産業大学 教授 片岡直樹様
6	5月23日(日)	特別講演会：奈良の古寺と仏像を楽しむ 「奈良の古寺と仏像展」関連講演会	前奈良国立博物館 館長 鷺塚泰光様
7	6月19日(土)	講演会&ファッションショー：“夏衣”現代に 楽しむ 「小千谷縮・越後上布展」関連講演会	染織研究家 木村孝様
8	7月25日(日)	コンサート：大森潤子 ヴァイオリン・マチネ 「ユトリロ展」関連コンサート	大森潤子様
9	7月31日(土)	講演会：神林恒道會津八一記念館館長講演会 美術教育関係向け講演会	新潟市會津八一記念 館館長 神林恒道様
10	8月1日(日)	コンサート：神武夏子 ピアノコンサート 「ユトリロ展」関連コンサート	神武夏子様
11	9月11日(土)	特別講演会：ポンペイの産業と交易 「ポンペイ展」関連講演会	同志社大学名誉教授 浅香正様
12	10月2日(土)	特別講演会：まんまるまるく 「木喰展」関連講演会	漫画家 高橋郁丸様
13	10月23日(土)	コンサート：ミュージアムコンサート宮澤優子 イタリアを歌う「ポンペイ展」関連コンサート	宮澤優子様
14	10月30日(土)	ポンペイ展記念講演会：ローマ史からみたポン ペイ遺跡「ポンペイ展」関連講演会	同志社大学講師 坂井聰様
15	10月31日(日)	特別講演会：JAGDA 新人賞および亀倉雄 策賞受賞作家講演会	木住野彰悟様 長嶋りかこ様 八木秀人様 浅葉克己様
16	10月31日(日)	コンサート：溝口肇ミニコンサート 「ポンペイ展」関連講演会	溝口肇様
17	11月7日(日)	コンサート：カンツォーネより愛をこめて 「ポンペイ展」関連コンサート	五十嵐郊味様 齋藤淳子様

成果

企画展・常設展・共催展に関連した講演会やコンサート等、多様なイベントを実施し、参加者数も多く関心の高まりがみられた。美術に関連する多様な文化活動に参加者が親しみ楽しむことが出来る機会と場の設定ができた。

課題

展覧会関係のイベントだけでなく、教育施設としての研修の場の提供を一層進める必要がある。

問合せ先

新潟県立近代美術館学芸課

電話：0258-28-4112

事業名**出前講座****目的**

美術館の社会的使命達成に向け、美術館が持つ人的資源を活用し、広く県民に、新たな発見と感動を提供し、創造力を育む機会とする。

実施主体

新潟県立近代美術館

参加対象

一般及び児童生徒

参加者数

1013人

回数

17回

日数

17日

時間

各回約 30 分から 90 分

場所

県内 16 会場

内容

	期日・時間	テーマ	主催・対象団体・会場等
1	6月17日(木) 10時～	佐々木象堂と新潟の金工たち	魚沼市立湯之谷中学校3年生
2	6月23日(水) 10時～	どこでもアート つんでならべて	上越市立吉川小学校3年生
3	7月13日(水) 10時～	形と色の組み合わせ・どこでもアートつんでならべて	燕市小中川児童館職員
4	7月20日(火) 13時～	どこでもアート つんでならべて・色と形の組み合わせ	柏崎市立鯖石小学校
5	7月25日(日) 10時～	どこでもアート つんでならべて	南魚沼市金城幼稚園・保育園
6	8月5日(木) 10時～	マチスの切り絵に迫る・色と形でピカソに挑戦	胎内市教育研究会
7	8月6日(金) 9時～	マチスの切り絵に迫る	下越美術教育研究会 新潟市天寿園
8	8月27日(金) 13時～	どこでもアートつんでならべて・マチスの切り絵に迫る	加茂市教研工芸美術部会 加茂市中央公民館
9	9月5日(日) 14時～	阿部展也とその周辺	五泉市教育委員会生涯学習課 五泉市総合会館
10	9月14日(火) 11時～	どこでもアート つんでならべて	新潟市立早通小学校1年生
11	9月17日(金) 14時～	形と色の組み合わせ	新発田第一中学校1年生
12	10月7日(木) 10時～	どこでもアート つんでならべて	南魚沼市金城幼稚園・保育園
13	10月17日(日) 13時～	どこでもアート つんでならべて・色と形の組み合わせ	十日町市立橘小学校
14	10月24日(日) 13時～	どこでもアート つんでならべて	新潟市立桜ヶ丘小学校
15	10月26日(火) 14時～	世界遺産をめぐる旅 イタリアンチリア島のモザイク壁画	大形中学校1年生・保護者
16	11月7日(日) 13時～	どこでもアート つんでならべて	新潟市立庄瀬小学校
17	11月14日(日) 13時～	マチスの切り絵に迫る	長岡市立北地域図書館

成果

鑑賞の講座ではその分野の専門の学芸員が、対象に応じて、映像などを交えながら、分かりやすく講義をした。ワークショップでは作家の技法や創造的な基本技能を体験していただいた。その結果は大変好評であり、美術館との距離が縮まったという感想をいただいたり、完成作品を学校の作品展等に発表したりなど、次の活動につながっていった。

課題

団体によっては 100 人を超える参加があり、複数の職員で対応するなどしたが適正な人数を明確に示し、より充実した中身の濃いものにしたい。

問合せ先

新潟県立近代美術館学芸課

電話：0258-28-4112

事業名	ワークショップ		
目的	美術についての新しい視野を開くように、ワークショップや鑑賞活動を進める。		
実施主体	新潟県立近代美術館		
参加対象	一般	参加者数	67人（第5回まで）
回数	6回	日数	6日
場所	新潟県立近代美術館講座室 企画展示室 常設展示室 他		
内容			

回	期日・時間	テーマ
1	5月2日(日)14時～	美術館の舞台裏探検
	内 容	普段眼にすることないバックヤードや収蔵庫を見学し、美術館の業務について多角的に理解を深める。
2	7月11日(日)14時～	大人のぬり絵—ユトリロが描いた街並み
	内 容	ユトリロは、自分のパレットの白い絵の具の中に、砂や漆喰をまぜることにより人間味ゆたかな質感を表現した。その独特の世界を、ぬり絵を通して体感する。
3	期日・時間	テーマ
	7月18日(日)11時～	ギャラリートーク 美術でおしゃべり①
	内 容	展示室で作品を見ながらその場でお互いの感想を発表する。いろいろな見方やさまざま意見に触れることにより、作品を見る視点を広げ、新たな作品の価値に気づく。
4	期日・時間	テーマ
	7月25日(日)14時～	ユトリロが描いたモンマルトルを探る
	内 容	ユトリロが愛着をもって繰り返し描いたサクレ＝クール寺院、酒場のラパン・アジル、風車など、モンマルトルの通りを映像で確認しながら作品を味わう。
5	期日・時間	テーマ
	8月15日(日)11時～	ギャラリートーク 美術でおしゃべり②
	内 容	展示室で作品を見ながらその場でお互いの感想を発表する。いろいろな見方やさまざま意見に触れることにより、作品を見る視点を広げ、新たな作品の価値に気づく。
6	期日・時間	テーマ
	2月27日(日)14時～	クイズで作品オリエンテーリング
	内 容	館内の展示作品を巡り、クイズを解きながら作品のキーワードを探りながら、美術作品を鑑賞する。

成果	<p>企画展にあわせて行ったワークショップは、参加者の感想などからも、より深く展覧会を味わうことに貢献できた。</p> <p>ワークショップによっては定員を超える希望があり、一部人数を多めに開講した。</p>
課題	<p>参加者が0人のワークショップがあった（いずれもポンペイ関係）。季節・時期・内容・対象などを検討する必要がある。</p> <p>参加希望の多いもので、負担が少なく回数を多くできるものについては、複数回実施を検討する。</p>

問合せ先 新潟県立近代美術館学芸課 電話：0258-28-4112

事業名	美術鑑賞講座(ロビーレクチャー)(4月・5月)		
目的	美術に親んでもらう 初心者向け		
実施主体	新潟県立万代島美術館		
参加対象	一般県民	参加者数	5名/21名
回数	全9回のうち2回	日数	各1日
場所	新潟県立万代島美術館ロビー		
内容			

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月24日(土) 14:00～	ロビーレクチャー① ジャポニスムの版画	桐原 浩(当館業務課長)
	内容・方法	19世紀後半の西欧には、様々な面で日本美術の影響を受けた「ジャポニスム」の動きがあった。優れた画家たちは西欧とは異なる視覚を感じ取り、異国情緒を超えた美術の革新につながっていった。そうしたジャポニスムの作品を、出品作中心に話しをした。	
2	5月22日(土) 14:00～	ロビーレクチャー② ナビ派の版画	桐原 浩(当館業務課長)
	内容・方法	19世紀を終わる頃のパリでは、ゴッガンの影響を受けた画家たちが、「ナビ」(ヘブライ語で「預言者」の意)を名乗り、新たな芸術の先駆者としてグループを結成した。近代美術の道を開いた若者たちの仕事を紹介した。	

成果	幅広く芸術文化に親しみ、知識を得る機会を提供した。
課題	内容のレベル設定、会場の照度の問題など、さらに工夫が必要。

問合せ先 新潟県立万代島美術館 (担当: 宮下) TEL.025-290-6655

事業名	美術鑑賞講座(7月～9月)		
目的	県民から美術に親しんでもらい、 <u>展覧会理解の一助とする。</u>		
実施主体	新潟県立万代島美術館		
参加対象	一般県民	参加者数	37名/21名/14名
回数	全9回のうち3回	日数	各1日
場所	万代島ビル11階 N I C O プラザ会議室		
内容			

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月3日(土) 14:00～	ビートルクス・ポターとイギリス絵本の黄金時代	宮下 東子 (当館主任学芸員)
	内容・方法	ピーターラビットを生み出したビートルクス・ポターが生きた時代に出版された絵本とその作者、影響関係など、ビートルクス・ポターと関連させながら紹介した。	
2	8月21日(土) 14:00～	描かれた都市の姿 一洛中洛外図屏風	飯島 沙耶子 (当館美術学芸員)
	内容・方法	室町時代から江戸時代に至るまで数多く制作された洛中洛外図について、スライドで細部まで鑑賞しながら、描かれた内容について説明し、読み解く。	
3	9月4日(土) 14:00～	日本洋画のはじまり 一江戸から明治へ	新潟県教育庁文化行政課 主任学芸員 澤田 佳三 様
	内容・方法	日本における洋画のはじまりを振り返り、その後に展開していく初期の洋画の状況を紹介した。	

成果	専門的な知識や開催中の企画展に関連した内容などを話すことで、参加者の知的好奇心を満たすことができたと思われる。
課題	ごく一部の限られた人が参加し、有名な作品やネームバリューのある作家以外は参加者が少ない。

問合せ先 新潟県立万代島美術館 (担当：宮下) TEL.025-290-6655

事業名

美術鑑賞講座(10月～11月)

目的

県民から美術に親しんでもらい、展覧会理解の一助とする。企画展に関連した4回シリーズ

実施主体

新潟県立万代島美術館

参加対象

一般県民

参加者数

14名/21名/12名/16名

回数

全9回のうち4回

日数

各1日

時間

1時間30分

場所

万代島ビル11階 N I C O プラザ会議室

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月9日(土) 14:00～	描かれた物語 一源氏絵の世界	飯島 沙耶子 (当館美術学芸員)
	内容・方法	紫式部によって書かれた『源氏物語』の、物語と絵を照らし合わせながら、様々な時代に描かれた源氏絵を鑑賞し、その魅力を紹介した。	
2	10月23日(土) 14:00～	絵画を読む 一藤田嗣治《私の夢》	新潟県教育庁文化行政課 主任学芸員 澤田 佳三 様
	内容・方法	所蔵作品の中でも人気の高い藤田嗣治の《私の夢》の「謎」に迫りつつ、この絵画を読み解く。	
3	11月6日(土) 14:00～	お釈迦様の物語絵	宮下 東子 (当館主任学芸員)
	内容・方法	仏陀の生涯は画家達によってどのように描かれたのか、所蔵作品である桐谷洗鱗の『釈尊一代記』を中心に紹介する。	
4	11月20日(土) 14:00～	絵で見る聖書	桐原 浩 (当館業務課長)
	内容・方法	西洋絵画・版画の名作をとおして聖書の世界を紹介した。	

成果

専門的な知識や開催中の企画展に関連した内容などを話すことで、参加者の知的好奇心を満たすことができたと思われる。

課題

ごく一部の限られた人が参加し、有名な作品やネームバリューのある作家以外は参加者が少ない。

問合せ先

新潟県立万代島美術館 (担当: 宮下) TEL.025-290-6655

事業名

ビアトリクス・ポター展関連イベントトーク「絵本でゆたかに！」

目的

展覧会に関連する話題により、来館者の意識・教養を高める。

実施主体

新潟県立万代島美術館

参加対象

一般県民

参加者数

28名／36名

回数

2回

日数

各1日

時間

1時間

場所

新潟県立万代島美術館 ロビー

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月13日(日) 13:30~14:50	家庭での読み聞かせ	N I C木戸えほん館 司書 大矢 美智子 様
	内容・方法	家庭での絵本の読み聞かせの意義や効果的な方法、年齢別のおすすめ絵本等についてわかりやすく話す。	
2	7月4日(日) 13:30~14:20	家庭での読み聞かせ	N I C木戸えほん館 司書 大矢 美智子 様
	内容・方法	家庭での絵本の読み聞かせの意義や効果的な方法、年齢別のおすすめ絵本等についてわかりやすく話す。	

成果

展覧会来館者の興味の高い事項についてお話いただき、絵本の意義を知り、家庭生活の参考になったと思われる

課題

会場が売店の近くにしか確保できず、話が聞きづらい状況であった。

問合せ先

新潟県立万代島美術館（担当：宮下）TEL.025-290-6655

ビアトリクス・ポター展関連イベント
「ピーターラビット」おはなしタイム～日英対訳～

事業名

目的

おなじみの絵本の原文での朗読を楽しむ。

実施主体

新潟県立万代島美術館

参加対象

一般県民

参加者数

46名／40名

回数

2回

日数

各1日

時間

1時間

場所

新潟県立万代島美術館 ロビー

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月26日(土) 15:00～16:00	『ピーターラビットのおはなし』 『ベンジャミン・バニーのおはなし』	朗読：たんぽぽ絵本 コカリナ：木音 <small>このん</small>
	内容・方法	絵本を拡大した場面を見せながら日本語・英語を交互に朗読。 合間にコカリナ演奏。	
2	7月10日(土) 15:00～15:45	『モペットちゃんのおはなし』 『こねこのトムのおはなし』	朗読：たんぽぽ絵本 コカリナ：木音 <small>このん</small>
	内容・方法	絵本の場면을壁にプロジェクターで投影しながら日本語・英語を交互にマイクで朗読。 合間にコカリナ演奏。	

成果

展覧会に関連し、おなじみの絵本を、原書での言葉の響き・リズムを楽しめた。

課題

ロビーで行ったため、誰でも参加できる反面集中しづらかったと思われる。

問合せ先

新潟県立万代島美術館（担当：宮下）TEL.025-290-6655

事業名

彫刻家・簀内佐斗司展 関連イベント

目的

展覧会についての知識・教養を高め、展覧会を楽しむ。

実施主体

新潟県立万代島美術館

参加対象

一般県民

参加者数

90名／90名／17名+23名

回数

1回

日数

1日

時間

1時間

場所

新潟県立万代島美術館・展示室

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月1日(日) 14:00～15:00	簀内佐斗司氏講演会	彫刻家 簀内佐斗司 様 平成伎楽団 あめのうずめ組 様
	内容・方法	簀内様による自身の作品について語っていただいた。 後半には平成伎楽団のパフォーマンスの紹介も行われた。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	8月1日(日) 15:40～	平成伎楽団パフォーマンス	彫刻家 簀内佐斗司 様 平成伎楽団 あめのうずめ組 (5名) 様
内容・方法	簀内佐斗司様の作品《平成伎楽団》の仮面と衣装をまとった人々が、楽器を使いながらパフォーマンスを演じた。		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	8月28日(土) 13:00～13:40/ 15:00～15:30	平成伎楽団ワークショップ 踊ってみよう・着てみよう あなたも平成伎楽団	平成伎楽団 (3名) 様
内容・方法	簀内佐斗司様がデザインした平成伎楽団の仮面と衣装を着て踊りや動きを体験する参加型イベント		

成果

展覧会の内容を補足するダイナミックな動きを伴うイベントで、参加者の好奇心を満たし、また大いに楽しめた。

課題

展示室内を会場としたため、同じフロアの参加者は親近感がわいたと思われる。
ワークショップについては、内容をもっとわかりやすく広報するべきであった。

問合せ先

新潟県立万代島美術館（担当：桐原）TEL.025-290-6655

事業名

彫刻家・藪内佐斗司展 関連イベント

目的

開催中の展覧会に親しみ、楽しむ。

実施主体

新潟県立万代島美術館

参加対象

一般県民

参加者数

25+23+16名/34+35+34名/8名

回数

各3回/1回

日数

2日/1日

時間

30分/1時間

場所

新潟県立万代島美術館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月24日(土) 11:00～/13:30～ /15:00～	せんとくんと写ろう せんとくん撮影会	せんとくん(着ぐるみ)
	内容・方法	藪内佐斗司氏がデザインしたキャラクターせんとくんを呼び、来館者が撮影したり一緒に写真に写るなどした。	
2	8月29日(日) 11:00～/13:30～ ～/15:00～	せんとくんと写ろう せんとくん撮影会	せんとくん(着ぐるみ)
	内容・方法	藪内佐斗司様がデザインしたキャラクターせんとくんを呼び、来館者が撮影したり一緒に写真に写るなどした。	
3	8月8日(日) 14:00～	ワークショップ めぐってさがせ! ヤブウチ・ワールド	宮下 東子(当館主任学芸員)
	内容・方法	質問に沿って展示室内の作品をさがして答えるなどしながら展覧会を楽しむ。	

成果

展覧会での楽しみが広がった。

課題

広報の仕方について工夫する必要がある。

問合せ先

新潟県立万代島美術館(担当:桐原) TEL.025-290-6655

岩合光昭写真展～ねこ～
ギャラリートーク&サイン会

事業名

目的

展覧会を理解し親しみを感じてもらう。

実施主体

新潟県立万代島美術館

参加対象

一般県民

参加者数

11日 トーク110+121名 サイン会100+60名

12日 トーク120+125名 サイン会64+57名

回数

各2回

日数

2日

場所

新潟県立万代島美術館 展示室/ロビー

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	12月11日(土) 11:00～ 14:30～	ギャラリートーク&サイン会	写真家 岩合 光昭 様
	内容・方法	展示室にて岩合様から自身の作品についてお話しいただき、その後会場を移して図録・写真集等を購入したお客様に対してサイン会を行った。	
2	12月12日(日) 11:00～ 14:30～	ギャラリートーク&サイン会	写真家 岩合 光昭 様
	内容・方法	展示室にて岩合様から自身の作品についてお話しいただき、その後会場を移して図録・写真集等を購入したお客様に対してサイン会を行った。	

成果

作家本人から直接はなしを聞くことにより、作品に対する理解と親しみが深まった。

課題

参加者が予想以上に多く、十分な場所が確保できなかった。

問合せ先

新潟県立万代島美術館 (担当: 飯島) TEL.025-290-6655

事業名 新潟県立歴史博物館 「出前講座」

目的 当館研究員の「調査・研究」活動の成果を広く県民に普及する場として、また、県民の多様なニーズに即した生涯学習の場として、県内各地で講座を開設する。

実施主体 新潟県立歴史博物館

参加対象 一般、親子

参加者数 延べ441名

回数 10回

日数 10日

時間 延べ15時間

場所 県内7会場（下記）

内容

各回とも配布資料・視聴覚機材を用い実施。講義後、質疑応答を行った。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月10日（金） 10:30～12:00	民俗学へのいざない 食文化 会場：村上市荒川地区公民館	当館交流普及課長 野堀 正雄
	内容・方法	「食い道楽」の大阪で鍛え上げた担当講師が、民俗学の立場から日本の食文化について、わかりやすく解説。本当の旨さとは何かを受講者に問い掛けた。	
2	10月13日（水） 10:00～11:30	民俗学へのいざない 「すし」の文化誌 会場：新潟市曾野木地区公民館	当館交流普及課長 野堀 正雄
	内容・方法	昨今、世界的な「スシ」ブーム。一方、すしネタとなる高級魚が漁獲制限などで入手が難しい。子どもから大人まで、老若男女に広く好まれている「すし」。新潟県の事例をも取り混ぜ、その歴史の変遷を解説した。	
3	11月16日（火） 19:30～21:00	古代北陸道の海の道 会場：粟島浦村中央公民館	当館専門研究員 浅井 勝利
	内容・方法	奈良平安時代、都と越後佐渡を結んだ「古代の海上交通」について解説した。	
4 5 6 7	11月18日（木） 11月25日（木） 12月2日（木） 12月9日（木） 13:30～15:00	楽しい古文書講座（初級編）＜4回連続講座＞ 会場：新発田市紫雲寺地区公民館	当館主任研究員 田邊 幹
	内容・方法	基本的な文字のくずしや言い回しなどについて学び、古文書に親しんだ。古文書初級者を対象者とし、丁寧にわかりやすく解説した。	
8	11月27日（土） 10:00～11:30	民俗学へのいざない 古典文学と民俗世界 万葉集と民俗 会場：十日町情報館	当館交流普及課長 野堀 正雄
	内容・方法	民俗学入門講座。日本人に古くから親しまれてきた、古典文学から『万葉集』を取り上げて、古代における民俗世界から現在までの民俗について、わかりやすく概観した。	

	期日・時間	テーマ	講師等
9	12月12日（日） 10:30～12:00	自分の指のレプリカを作ってみよう 会場：五泉市総合会館	当館専門研究員 山本 哲也
	内容・方法	「レプリカって何？なぜ博物館にはレプリカが飾ってあるの？」という質問がよく聞かれる。実際に自分の指のレプリカを作る作業を通して、レプリカというものを考えた。	
	期日・時間	テーマ	講師等
10	12月19日（日） 10:30～12:00	体験教室：本格まが玉作り 会場：五泉市村松公民館	当館専門研究員 山本 哲也
	内容・方法	滑石（かっせき）より硬くこわれにくい石材（青田石）を使って、まが玉作りをした。	

成 果

今年度、県内6市町村、7会場で、計10回の出前講座を実施し、延べ400人を超える多くの方々から参加いただいた。どの会場も、講義終了後にたくさんの質問が寄せられる等、受講者が熱心に学習する姿がみられた。

課 題

毎年、出前講座の依頼をして下さる「常連」市町村がある一方、まだ一度も実施していない市町村も多くある。今後、各市町村の生涯学習担当者に働きかける等、様々な機会を通して出前講座をPRしていくとともに、アンケートや会場担当者の意見を参考にしながら、よりニーズに対応できる講座作りに努めていきたい。

問合せ先

新潟県立歴史博物館 交流普及課 （担当 久保 英典、佐藤 正樹）
TEL：0258-47-6135